*ヨッ氏の自殺に脚する真相不明 | 共行之に對するゲ・ペ・ツの機械 6中央部行委政館高校チエルガイ」・園民和園内における医療影響源の(モスコー十六日同盟)自嘉州司「七三牌派して自中シア、ウクライ

黛籍を奪はる

天機奉伺の後

統治現狀奏上

方針に觸し奏上極を御下間に盛の後朝鮮統治の現狀態に今後の

鎌倉の自邸に入つた南總督

、の逮捕説も 大體基質らしくカラハン、 一、スターン、ヅーケルマン、ミロノフ・煎駐日大使ユレニエフ氏及び クレチン

センベルグ兩氏も一行方不明を傳へられ

即日にせぬ有機であるが祭するにソヴェート政府はウクライナ地 「閩境方面を中心とする赤軍の二大流攝工作を行ひつつある

政府は昨年在是りから東部脈に政府部内の図ス

際にかルスコエ・スログ本紙は蜀一殿が迫つてあるにがへてむく、同一の債勢については衝散戦人たる有一般管スタニリン批記をの身邊に位

に提出、味が高

管定は幾分運転されるものと見ら」よる膨膜のみでも四千五百萬風に

原を受けるつ朝鮮産業五ケ年計と、
萬国の後を受けて日曜一體の一と
といはれた本年度の四億一千餘と

これから推して明年度の復算は少

達するものと見られて

くも四億五千萬國を突破すること

天地玄黄

は確質と見られてある

程度にまで現はれるかと問題で 公債の治刑が如何なる

【東京記話】近衛首相は十

鮮内機道の全部を定化。この

財務局 静部は東上不在となるので

ホーランド紙の報道

と行為から運動されてあって生で同地方の住民は同事攸を一任するドイツ祭ロシャ人や外国派事館に出入する一般市政に まらず相當腹範頭に及ぶ世紀で多数の赤重將被は勿論同地方

度傳はるや キエフ、オデツサ地方の官であつたどころから 同將軍處刑の司令官ヤキール將軍は 元キエフ軍管 八將星の一人たる 前レニングラード

受行した駆により政府順に対。至常と準候されたが現にウクライ。際へられるのでは、変遣、変遣、通信を、順に代産に以五十三百八十二名が、ヴェート協定のでは、変遣、変遣、通信を、順に代産に以五十三名が、ヴェート協定のでは、交を提供に対する不同。当中は終めて機反に貫行されまし、既か自殺を定しては、失きを提供に対する不同。

一方ウクライナ地方における流域

| 旅行通信でも同じの前独に上五名がソヴェート官| ナ地方でも同じ

除名された、またロストツ市に

【モスコー十六日間盟】蘇聯或行

赤軍首腦空位補充

野浜域はこの間の事情

脅怖狀態に陷つてゐる 旨の情報

暗雲低迷するリ

細川護立侯 に出馬促す の出馬を促す器であるが国際は紳士会く不明である

問うに選引用差続を以て右將後を一島の事物はない間言明した。 権談中要如上百をかざして母歌に、―と信書部は十六日年優行報道を 財役したといばれるしかし遺憾は 日露の議長自殺

文部省關係者 秘密性に協議

ルッ氏逮捕

ローゼンゴ

する名目の下に継載されたがワル ッ氏は去て十四日他の任務に徳田 棚されば金蟹荷の原で近く小物に 「新開発の製造によれば既に述 胸性成人民委員ローセンゴル 1十六日同盟 ソッニ

歌される

【東京電話】日本 | 市政領部に破害地に命合、者場場| ~早くと説解に単に記

南北大、田池文書書長等開係者か一時しては新藤様成立のB百報告等

が踊りに随いられてあるがソヴェ に伴ふ然似種類に着す

> は十六日國家計説局次長スタニラ 【モスコー十六日同盟】解縁政府

が首相の重ねての思請に無常を観 上同九時五分離去したが結局就能

高橋兵器本廠長

次長を更迭

質似の改能に更北張県市万元社を氏を永山町の私邸に附き東北県教 長規任方の正式交別をなした。

個人師田と変してるるが

巌女子 エルヴィヤコッ氏は十六日 歌の景道によれば十五日夜赤軍。「財便動の動造を中止したとの景道 、コー十六日同盟] 白ロシア によった(1)と、まずと、一つの事質なない質が関した。 ストルミリン氏は有名な無熱療養・するものとみられるようにないのであれば、音度原方線医剤能に動しに動した。 ストルミリン氏を依確した。 一切人様方を発出し、一切人様方を発出し、一切人様方を発出し、一切人様方を発出し、また。 ファストルミリン氏を秘護者では、一切人様方を発出し、また者ではれてのよう。

きタス通信配は「家庭の事情によ 夫姐離の自殺をとげた、殿故につ

を喰つたものではないかと見られ

ウクライナ地方に

最も猛烈な弾壓の手

オデツサ地方、

不可能の場合は島建島重公を推す ことになる機械で之については斉一「モスコーナ 接はスターリン書記長を前問。 則長男論ない模様である

ってゐただけに種々の観測が降へ 以來明便和十七年間中央與行委員

上四月上國內籍號不安上對握 五日来西部國境を開始すると共に 蘇聯政府否定 國境閉鎖說を

島産業經濟界の好況を皮吹して 人の自然地収による証も場下の

が選現すれば公債

午前十時年人城縣參車會員三

本日夕刊八頁

東北興業總裁

即八時二十分則難談聽放八田弟明 【東京正話】近衛首相は十七日年 八田氏に交渉

A STATE OF

勢郎 (80)審作

七月特大號七

は消ち下さい。

に大事の際を殺されたから、困つ

に将軍後の悪傷と云ふお腹を精

ľ

言なるやらにしかな 足下は、どうなると思ふい るまいが、 来

銀附大冊別一第

りかかつた船だ、往くところまで したとは、 これは砂片

当ずぼめて往つた。 井田か體を外 で、間を困難にせられたとなる か、奴さん は、これが長 大事のお願を

表替里かな

777

便利なお子が

重る学問が 一点はれた手で大変 宝を大全集を

定員は八十名內外

N. Section 古田が見て

五千萬圓突破か

日然增收見込四千五百萬圓

明

| 古人地では、「日本のでは、「日本のでは、日本の るものと豫想され結局競人増加に ◆村村第廿朐網番熊長 十六日平 |歴代かもらへねえ、それとも部台 | い時油をいれて場たす

「さうとも、家の健女は、質問っ」で、利いて心が、せうせら逝かつ「疾れ観をかこ」

633 633 @ 63

٧

紙夫い作子でつし。 神の新りモトき2 種型工よ

笑って井田!

つそれやさうさ、注釈を吹いた。一大魔とは、同かあつたのかに 「どうしたい、何だい」 一何かあったちゃありませんよい

人の兵長は、陸翔から一般のここ院の様けたてを吸はすぞ」「大輝は支海・武権・火衛のハンだか、健父のは「こなれ、二萬・三茄子・おい、紅権・火衛のハンだか、健父のは「こなれ、二萬・三茄子・おい、紅海・水道・ 一 古田か并田に代つて医の際反し「大經三陸」から

動品にて多層御宴に向び新任奉告。

東京電話の近衛首相は十七日午

新任奉告

について配々打合せをなした

風體往來 天主志聯主原衛

協議を遂げ抵相か十八日西下する 世族院都長問題その他につき重要 後密時半官邸に大谷折相を招致、

英国が太平洋野職を提明する

意拜をな - 随途頑関神能に参拝

太郎を迎ひにやつてゐた。 井田 では三枚の紙をやつて開

Tooうだ、逝いおやねえか、手を

やいますから、その方に彫つてくいうに割下水の酸水脇がいらつし

第三附錄 のあま

除に公衆電話的を設け出話しなり

次十時ころ本町著に実しい | をみて並け出し本町著に数ひを求 | ~~です」とほしい明線の許、碌

今更に驚き本町署

|めたことが明つた、器域に悪々と | つて行つた

歌され十七日朝 「もら都館はこり

賊またも

いていろく~考へてゐる模様であ趣。貸配ではこれが使用方法に就

記を視察し、江岸を極歌中である

底を押する目園防日本の総

會に憧れる少女

口車に乘せられ京城へ來 て

「抗須賀配語」十七百年前九時候、機は至中衝突をなし際路塔報者へ

語の地行訓練中、千一名は胸**験し**た

縣木里律神上宏的近で飛行殴ニ

鐵道線路は神

20、近岸を脈飛中である。心に本府及び直境が成態脚部の前、引度能貌中型観測の智能組織の演(ヒ規語三名を置らせて龍阜十一月、は直らヒ出動、電戯の版。午後からは木内、読井南大野を中。れた........ 京城安国町四〇味酵(古人) 智殿の変に入になりすまして配下

(三人外二名と説明、村は右部理器

三星の地が開催洞を開闢したが、一一會であった

よ節約のお布令

になると

こに幽霊約

同番地元の邦覧を一様になつて横

夜でなくなる

平壌貴金屬商の怪事

女金の説、京城、仁川の支那人に

を綴り合せると、彼女は常正明

海運の娘が泣きく話した。

来せた、この女が恐ろしい諸様権「途景、いま西大門器で取満を受け

いて行くと、一人の朝鮮人女にじ

時計や値も……」といふのでつ

北南原金順成氏の娘雙加藤さん(「

しを連れ出して京城西小門町の支

有益なつ協議的を開催した 防空順設及び研散版指導に属する

覚地が徐行してゐたので飛過の一

電車の間に突入しぶつよけたが、 類が(で)の操縦するメットサンが 近して來た黃金町二ノ九小島方金田典とすり巡つた際に、後から弱

に刎わられて軍傷したといふ珍様 自動性が見太のテーブを切つて見

してみるが生命に思ざある

十六日献兄、長端を三和人役登中一十六日献兄、長端を三和人役登中一百四十末を 西西町林神の流は朔一百四十末を 田線に棒 京城道は湖海郡

太の開始を描いでゐた人夫は鬼太一似を受け附近の金茂紅洞院で手故自動師が鬼太のテープを切つて鬼一次に散開刻わられて別部共他に重

擔ぐ二人を刎ね飛ばす

規則を改正して

るので除行しない。の西次門行き

四台の自動車がストップして

防魔の 毒牙から

及危く数はる

角鮮を股に片ツ端から賣り

配されるので本析教が高さらざ、込むことになった配されるので本析教が高さらざ、不足の気がで見入に、脳道と起きを表現事でも続けるという。というないので、一切・は気があった。

旦殺青年二人

Sod Section

機構·材料·生産

神經質と脳の悪い。常 100 m

原献と整生法を起取した優雅園 股東隆和古紀へガキで がは古深圏の海や研究し、特殊 優化ものはありません。低版版 で低が配く述が思いてき。第一 なってもりません。低版版 を下降が取ってき。第一 なってありません。低版版 を下降が取りません。低版版 を下降が取りません。低版版 を下降が取りません。 が本門の平別でヒミッ がでありません。

ルプロミンを飲んで苦悶してゐる 5十七月午前:時鳥宅にあつたカ

夜賀兄と日流の末面諸日税を行

ご分の1馬力 (足器水車の分の1)

支店

塞音

¥ 135.

キク」簡易揚水機

盤野上工業

¥ 50.

P OP I

長島に朝した現句(東を楽じ)「開助生和住所不定代面書こと称(金原鉄版を攻に掘った四人風が)「報恵生和住所不定代面書こと称(金原鉄版を攻に掘き変数核数段)」 おっなもので、十七日朝一綱打攝長の変形と女に延った四人風が「報恵に使用人として確はれてゐる」「十八日候じます」。(二)

勞働者一名燒死す

北米大流行

電線

戋

商

店

芸な

第二一三號

Y 65.

く海川巻、単山物は著の恋死の語 は門大田・田りられて水州不便のため穴の翻り屋 (旅域に七百風 (気質・遺跡) 突然口から聴い、 飛ばの強夷に加 れに火がかえめつたものらしく、 三三の「四条版力」の方の選「の数日に無限をおいてゐたのでそ日午後十時五十分ころ京城西」た、版故は李の是金氏か夕方道突

海軍機空中衝突

白書の怪火 南大門通り

景咽喉科醫 大阪市西區和中一 大原

京城本町一丁目入口 井元 阿

淸





第二〇旦號

¥ 40.

が、の二二五布木両金製産的金砂製工 ・方二歌から跳い皮砂鋼が繋えてみ ・のを同語はか緩が直に顔が発送 と着的素質がある。



に不能を踏かあるので自然の怪火

Columbia 顿元 林式會社

一服で 心気 100 轉

? 日本當以四國會

全 道(の風) 型つたり

思慮北の風の気があれたり

天氣豫報 (8日)

圏 塩の風 一致つたり

0.00

ピラ手下に

経の知れない男の日期に深せられる場がの憩で、都館に憧憬れて傷いては、不知に憧憬れて傷いている。

日午町吉時飛気不明の膨緩が

深町別近の任しげな宿留の一部に三、四日則京城に出て来たが、蓬 趣されて京城見物ところか、男

ことを知り、恐ろしくなり男の臨った。急外にも帰郷明料五銀彩銅器「新をテンピラと似つて置つ瞬じ或しる火を強ひらので初めて誘拐された。路水込み11名のルンペンを描れた。を確つ瞬にせた外、兵性観や金物(画の本年客段を不能に思り、理聴版がい異ぱら叩の様と地の様人りの職・生力を続きれて京遠野郷ところか、男(小師かり僕しい灯が割れてゐるの)に頼び本月初め城郷月三ノ一三里(州間無寒されて京遠野郷ところか、男)小師かり僕しい灯が割れてゐるの」に頼び本月初め城郷月三ノ一三里(州間無寒されて京遠野郷ところか、男)小師かり僕しい灯が割れてゐるの。に頼び本月初め城郷月三ノ一三里(州間無寒されて京遠野郷と

名の辞題を受けさ

山地中の大倉流建 何光寺町人館館に みそなはせられ、 首等を卸典深げに 方と御物語りあり

朝鮮文藝會で

初の作品演奏會

り郷のない脳の不良グギをひきいて來たおのぼりさんに翻じ込んに

一角に立思かぬので列州は正むな一部の結果で北側川郡内市面登山町 く二分間立生生し、架が戦力がけ、北大東道軍 いへて殿直は延迟として公開光州 日大東道軍

河城北 の型 当つかり 戦略北 西乃至北 晴れたり

仁川の潮明

比無香汚・物無蓄人

部江原 の風 一型ったり、 「風間」北方芒果 明れたり

北の風一般つたり

生が総路を通行、資質を関してもので幼児は無機にも難殺された副州間を進行中四人地の領領人女優を概括の上に置いたまゝ遊館した

行第三八一列車が新光州、全開光」して来る列車に載き背景つた子供十六日午後四時ごろ順大総数行出。見を背真つて遊んであたが、嘉迦

して來も列山に取る背負った子供

避けぬ女學生

路を歩い

佛光寺に行啓 主要に「完成」、担は 主要に「完成」、担は り、間いてず状の の形形にて可能の 本意に向深層の後 選ばに自然がに 入らせられ資

一般の情報教育と明明な辞録出現一郎と博したので愈々來る三十日府朝は文藝館に明立以來半島書が布一就設置を第一高女で聞いた結果好

無条姉ちやん

進制派は名師範後三曹七数に引撃。東部型生界の量級日本大學素質部

町部道館支部道温で全島地址十八日午後四時半かい京博技 を延長して京城へ遠征したもので

京城地方

吹つて近米した

つて人間したが何かさて珍客とあ金良様十米の鯨の死職を罷場、拾

態に態態されたらしい

留、祇園四十二銭の宿料を路回し一る、條耶取調べ中 記を確えて來渡し極い既本、疑點となりその後登山、大郎、京郎長光郎氏の机上にあつた职記時 たことありと申立て薬行信まらず

青山島の鯖漁

水揚げ五十萬尾

近年ない大豊漁

八時頭府内一里でごと物明、九日頭山毘菜館一たが、同人は元産器技事を理能し 「頭南油」 | 江川客が採知し、同人を遮押取調 | 更に同夜精空卅に登壊八四五十銭

べた結果、大分縣南龍郡生れ高司の無銭遊輿をしたことなど自白し

嚴重取過一中

家出少女の

で競見 【平型】十六

巧みに釣り錢詐欺稼ぎ

平南道一圓に被害

棚の出土品なく費重な挙占あるもので、米だ存てこの 資料として研究に供されて

してゐる脈と城線に特徴かた風鐸と認められ居録型を

圓札横行

脱離主味例近調査中的近の正大坂金太郎氏はこのほど

【大町】 慶州古町保子商湯

一寸六分の企画風烈を変し、土中より直經一寸三分長で したが右は塔の四角に下げ

観正戦々と自戦事、 が等の盗跡が

| 延輩(き) 方で十二日午後五時頃を一服し京一銀行に页金し叉は田畑を「と飲酒の揚句金採情に殴打された

りの金額粒十萬圓を自己一人で着 一部を自己の近い戦闘に分配し襲城の東に十四萬原田で賢却しその

(金)は九日正午頃同里金探告(こ)

[惡山] 昌原郡東南风谷里金仁莊

珍風鐸

総山景影響動務を命ず

見事なもの

あどばるん

慶州で發加

小心もの身投げ

この男の仕楽でないかと目下

利六二四郎景淑(Pa)で、同校では

【安州】安州昌信義里七七時屋事

したが右は自称塗城部多斯面波路

盗んで入質

展終日の十六日はこの意味に於てまさに聖儀りの館職

坂山田暦美氏の部ペンコード百五十枚を購入して各署しい自子の 理論に勝つて 図整醮念型場に資 すべく先 配布し書時の曹及に死めたほどであるが、署長極能

設も効果的な関盟精神の経過に力づけられ、福島イズを時じ飛入りまで、飛ひ出す盛況で 各署長共風 纏りで ムを深く確穏してそれが、脳田の上大いに暫及に致むる語

奈原を費り搬び手値回の現金をも、文俗行動!帯に跨から四町あの山、数名を代理として瀬事局に澎ボ行烈は底近装山で維養してゐた喫。土地翻線散訴事散、上桁内新門町、た一部の観光型が竹鷹して緑源工行水分割) 時内水発師町四一〇田「寒子・土地総が鷹上出した理師な」してゐたところを気配師れとなって水分配

畑は李氏一族の現有地として数年文化村町一帯に跨が三四町步の山

被告も数名の経践七をたて法廷に 数名を代拠として検事局に告訴、 日本刀に闘する研究語語について柴崎全州高普敦識の 湖の正領の歌を掲げ、その道の戯威花本井呂曹校長の が開かれ、正面に動士の志士坂本館馬の蟲像、鵬田県

全長十米の大鯨

幕(僧格十国)を置つ贈って逃走・野道學校の校底に覧してあった天一

た慶十六日居れてこれを選択した じめんとして雑戯の間に隠してゐ つて水質補に移り、近く商奴をは

| 一部に、茶くなつて水が消害に通出 | 行士地か自己の耐人名称となって | ある| | 本くなつて水が消害に通出 | 行士地から足が大してみらのを | 無過よりを見せて来たので参表は | て一般から異味をもって見られて

るのを

寄貨として

昨年これを

京

つたが大臣墓の建設に伴れ物後い。 厳酷としては確りにも大事他とし 射までは無質値に響しいものであ。 健本書であるが土地熱か生んだ副

経路の上述がして駐在所へ突き出

か、紛失したものか取調べ中 た、同暑では盗難にかかつたもの

こ」にも生産れ

「戦を匿俗訓導が語見、

南浦の西島燈台附近漂流

八幡丸のぉ手柄

いからと無下舟田に力をこので読を吟ずらところ陰宮さの第一人書献記奏発節長は日本豊産の銀芸は光づ時時の銀芸は光づ時時の銀芸は光づ時時の銀芸は光づ時

託宣の詩吟で

不精神の高揚

福島イズムの型破り署長會議は

朗々たる正氣の歌

に満つ

かくした 虎の子

躍十萬圓の成金ですます

土地熱が生む爭ひ

同(釜山)佐藤田田野緑岩和様を命ず

虫子しから 姿を晦ます

※の勝順を越した(別員は、立初 心質り抱川器に、立むくの居住有 を

く要観が得られず同者では差 するから駆政府跡から汽車に乗男が來て自分を事毎に叱り慰符

族の共有土地を



親豚が仔豚を喰つた祟りで 生れた因果の娘

物のあり合せの松丸なで親友を殿 八日夕、酒の上の殴れから歌品の 「全州」初夏の風徹かに取る去月

賈上げ五十萬を目指し

泥酔から

吞み助男に 五年の求刑

もせず塗者に育つてゐる、玉分の世線のいふ の形は眩そつくりといふ見らからにぞつ 3やうな意味の思い変をしてゐるが別に複雑 皮膚が観点で展々と思い毛に遊ばれ、日中県 **本助那北面沿湖里の眺袤地の蝦並分。ごは何** ことには今から火年前主分がお腹にあつた時 因果か生れつき石学はが風から足の先まで ギリシア神話にでも出てきさらな幼女 「鳥山」これは次た世にも終らしい半人生験

飼ってめた豚も狸掘したがどうしたことが生 てから割ち資産になったので一家は同女を業 (職の神) として大切にしてゐるといる一

既の怪人であつた、ところが不思議なことに はそれまで飲乏であった郷一家は玉分が生れ か月曜ちて生れた子供が前記のやらに半人生 これが不吉の即兆で景時色々厄郷ひをやつた れた仔匠を態度がペロリと喰つてしまつた。

北信じられない やちな質話である

は行きすいした西に作りかられて、一年は四十年四回の夏上げを示し中。の他四面的傾向のため近く登録師、金、山口剛翎那路線、高技術、既示僧の夏上高はガニの風、昭、宮地で開送。 大に関連的よりは、一年の夏上の大が、一年年の見、こか、たに開催的に集別の場点、教書は接近を習過以上の生命で、することとなったが、一年年の見、こか、たに開催的に集別の場点、教書は接近を習過した生命で、することとなったが、一年年の見、こか、たに開催的に集別の場点、教書は接近を開送。 (平道) 御覧組合では第五回と本 地種してみ 質情から見て、今年電遊野が取供の公報に始まれた。 個山垣大城里季起男(a)に係る頃の殺して祖里塔に変加された統山郡

女の中立が時だ関係で投資困難の リのかくしの中の収金二百世が館の花金氏(生)が脱いでゐたチョゴ 安州署でも取調べ中であるが、歴 を買ってゐた間に消えて失くなつ たので大騒ぎとなり、同出により **励る途中大域里の重条外小扇方。現在跡が西暦三数の問題を完彰に「を開くことになつた「団部署の現在景に助けられて「一等住四十条英國の翼上げを示しや」の他内面的破傷のため近く夜途跡**

怒る小作人

少作権を取り上げられ

一家皆殺しを企つ

「高班」を仕げ来出物し数も少く 前民ら駆ぐ 【後山居内への場合の場合とは、これである。 「一大の大学の大学ない。」 「大学の場合をは、「一大学の場合をは、これである。」 「「一大学のので参山場で収入・場合でした。」 「「一大学の大学ない」」は、「一大学の大学ない」は、「一大学の大学ない」は、「一大学の大学ない」は、「一大学の大学ない」は、「一大学の大学ない」は、「一大学の大学ない」は、「一大学の大学ない」は、「一大学の大学ない」は、「一大学の大学ない」は、「一大学の大学ない」は、「一大学の大学ない」によっていません。

面長雲隠れ

外氏は突然生る一日以来養を職ま とかく風部のあつた高地面は前後 の女王が昨年末は東山郡・共津したの人風部のあつた高地面は前後 の女王が昨年末は東山郡・共津し けに面配の不安は大きく同面長の一に上る良込みである してしまな、折から大竹内務局長 ともいるべき大切な語であつたと 川出後語牌情などで高級の非常時 江原道門初巡視、また南江の二 《中であるが被害額は一萬回近く 間報み出しこれを十五銭カル川銭 首認者はか共犯女工を練ぶし取問 で置つてゐた事實を採知し十五日 て糸巻チーズ時間九十銭を約一萬

濱職元面長

懲役八ケ川

西州無総者動務を命ず 短山紫紫岩湖粉を暗ず (馬山) 比良元秋日

東郊 中尾 逝

あた度、去月十四日午後四時頃個一人を機器取調べ中

家を殺害すべくその機を狙つて

時態館に至らしめた、湿炭器で砂

けるばかりなので塗に脊髄と弾の「氏に正機を繋へ作揺で同日午後十一へて数ひを求めたが常に冷淡に却「氏氏(**) 匿名を松丸太で勝打し李

展三原四地主の河をあれな状を終 河家にぞり河の肚本氏(***)及刑は

種の質異をも担まれたので、金は一金はなはも倍質的まらずその足で

月小作館を取上げられその上陸一河はその撤帯に恐れ避難した起、

一日蘇を水平小作してゐたが本半、き瓢節を掘打し窓行を加へるので使べれば同里鴻斌東三の所有田(のを見ると手を即けて桐根部を実得所の一句を見ると手を即けて桐根部を実

模様である

落雷で感電死

展らず地立お前の文だよと云ふれるの父は何處かへ行つたきり

機関者であり同様にまた監督官た

る高城郡守に展問するといきまい

てなる

~であるが、役女のボッ/~と

使基の機額及文書修造行使事件の 別次は十六日午町十一時位々木本 遊査(原山)字野校は十六日午町十一時位々木本 遊査(原山)字野校まの概観及文書修造行使事性の「鬼奈教祭送動務を命ず できつが配えて生みますではおり 同 (居員)(金州)氏数元完州郡南田面大戦。馬山神宗宗勤務を命ず

郷大田面大興利提夫金吉得は夫婦一つた、被告は接訴するに

常改一般の新なく1つでで、一切と | 居員祭祭者動務を命ず戦長から多少罪者を修正、一両と | 任題尚南道藝部稲

聲流鋪(聲務課)山口

野部 (衛生器) 森本 衛免本官 **養活胎(施薬) 点田 老**









糸卷チーズ一萬個を盗む

釜山製網工塲受難

惡性腸疾患ニモ、ハ五三人 (チフス、疫痢、腸炎、下痢、腸潰瘍等)

炎 三四、二十人

肺炎並に惡性膓疾患による死

亡者が一ヶ年に廿五萬人以上

及ぶ事は帯だ寒心に堪(ず。而も是れ一結核の死亡者は一三一、五二五人)に

は酢が鯉めて「立語の高橋樹帯は気役五年を実施群末を壊ഥに」立語の高橋樹帯は気役五年を実施 今秋九月頃に開催

急性肺炎及惡性腸疾患の關語

驚くべき死亡數

きおく早お!歌行流るあ色異たつ明と現

٤

巧に配合せる内服築にして本剤の最もも高貴なる植物及動物水ルモン數種を

巍效を遺憾なく發揮せしめんが爲め最 患の豫防と治療を目的として其 アポセーフは斯の如き急性疾 して侵す度に恐怖すべきものなり 等の病菌は結核菌と異なり急激に喪水

故に本劑が人體譜機關中最も

らしめ、以て強心、殺菌、解熱、消炎の顕液循環と、白血球の喰菌作用を旺盛なての毛細血管の活躍を促し、全身の血誇るべき特長は服用すると共に體内凡

者なる綜合效力を發揮するにあり。

強化と治病特に左配の疾病に對し

恐性疾患震災災の解熱、消炎 せらる、質臘に敬して明かなり。
圏大家並に多數實驗者より均しく賞讃 極めて優秀なる效力あることは臨床脳

腦貧血、動悸、息切の救急、鎮静 果性腸疾患等ラス、段間の殺菌、上瀉 職 衰 弱型の発素の強化、治病 職疾 息響。豫防、治療 衰退、疲勞、高血壓の防止、回復

等の副作用もなくなうに、い見きが故に教祭薬としてる内服薬にして何なうに、い見きが故に教祭薬として本剤は最も安全な 本劑は他藥との併用臺も差支なし。 APOSAFE (大人 二日分) 金五面八十島 (大人 二日分) 三・〇瓦入 ●各楽店に販賣す は整復のみ振香に工御送萬一附近藁居に品切の節

おすしめし 遊発料 一番安全な おやつには お子様方の

かつたが自分の姓も知らず説の名 金でへるる一名の少女を沙里院院

を買つて調造十個礼で九回の動錢店が石先方に現はれてピール二本

れ等的遺配の出現は平原材内のみ、人は同一人らしく被電館も黄海平鏡の製造館」枚が鑑認された、こ、日勤が監視してゐる點から行使物

りを辿ると去る四日新食里食料品、鹿の野首亀)枚が懇望された、こ 日前かい前以してある底から行性心と出現して特度に大寿威を興へて「際に五枚が総型され頭には近こで、 甲甲十一月総支が此一回に重つてあるこれ等資質ものも出現の足ど、 一個に互牧が総型され頭には近こで、 甲甲十一月総支が此一回に亘つてあるこれ等資質の表別を 的鍵をとつて総正した外、つまけ く協認な活動を開始してあるが、十 間礼及び五十銭製造製造が取る 的鍵をとつて総正した外、つまけ く協認な活動を開始してあるが、1 年後 1 協正権内には修道等製物。買つて例の十四紀で九四八十銭の と近路を飾り 一味の本拠をつくべ 【平接】 協正権内には修道等製物。買つて例の十四紀で九四八十銭の と近路を飾り 一味の本拠をつくべ

がれた金相様とその父命學派に係【全州】金塔のグロ戦性として経 **叺詰め事件公判**

ふる (慰責はその風邪)

らできた珍組合せ 行かないが、去る十三日の道域機 ◇慰しいもの、真寄つたもの、意 「全州」 珍な解釈とまでは (本名 ママーブラスター)

刺遊療なく御申出で下さい。 刺遊療なく御申出で下さい。

三十銭・五十銭・一円 一銭・二十銭

加一方るくまく炎は

地在々所売専グッラド田有

罗夜行

列

車の渡り

J

神經痛、

、りウマチ

うちみ、くじき

大木五線団本舗 大 木 日 名 会 社 ママープラスター速度ル

詳細文献贈呈

17

炕

一和安全なのは政府献起、日本

契約冰 要局方に牧城の要品により、 别特

製八日 分別人 日 分 士八四 中,四四

野、又は〇〇町野脱酢品質などと のは土の研究せる新娘があるが、中には一大機研究所内。一・二

資付減せられたる。 最良質のもの 何かはこ内特質衛生は破所が、

れ源は未だ一般関係型界の公品

殿品の検査封鎖をするかと云へば駅前の検査封鎖をするから云へば

淋病と新薬病質

で 様の治林剛八種を主薬 が深高のお郷島が収置。 前内務省衛生 試験所封 の 前内務省衛生 試験所封

夏の保健に

本病患者は 衆員とすべきか

白頭山特

■朝鮮みやげ■世界好評の■滋

菱

快

れてはならね。一部深重すべきは「からに歩じない場である。然って根原を知るに、小便である。然って根原を知るに、小便をコラフに使ってはると、小便をコラフに使ってはる。それ、一切が有効なりは様がも成し、小性をコランに使ってはると、大性をコランに使ってはる。

藥の有効無効 は小便を見

せる公園治派館である

即作用なきやら配局

は個々の飲味に出はさ一小型を採つて見て、糸質様の報紙

をしても、コップで一を逃するのである

使ってらした方に、舶來はかりを、ず べてほしいのです。

とは全然その趣きを異にす。 る活性酵素注射劑にして、已存結核注射劑 本劑は酵母南及多種の非病原菌より抽出せ

包

市阪大 田黑

10 E

商品藥

本劑の作用

一、各種グイタミンの供給により栄養一、海血球沈隆速度を正常ならしむ一、海血球沈隆速度を正常ならしむ一、網狀内皮細胞を刺戦し白血球を増一、網狀内皮細胞を刺戦し白血球を増

一、微熱を降下し食欲を増進せしむ を増進す 本劑の光榮

其他各官公私病院より御採用を崇る大學病院、赤十字病院、滿蹤、三井、 適 應 症

濕疹、小兒脫病質、一般虛弱体質、榮失、眼結核、腸結核、膀胱結核、膀胱結核、慢性療・肺結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肋腹膜 養及食慾増進等に卓効あり

夏

3

化

は

充力

て

こませておくこ

崩

です。

まづ生肌

しのんで頭の間まを恢復する

表面だけでは不

斷然! 2 やらなこ **+**0

店商源近 灩 ፣ 七源野天 鰤 お化粧下に•お洗顔の後に•おヒゲ

109CE • F

は、希望を失ふ事である。幸先 古だった「のぞみ」に乗れない事 のぞみに乗せません』と云心自

-つて來て了つた。赤切符で签 た胎腑は、「京城湾の切符は

に、だがしかしあなたの部屋は

と、たづねた所、二つ返事での

サンキューとも何とも云はずに

跳を持つて 行つて了

ありませんと来た。西洋州人は

舊都から百済の哲都へと行脚し たわけである。安田な誤だと美

開城を見て扶徐へ行く。

かしく若き失人を逃れた中年

君ではなかった事が分明し

めたぞ、然らばどこか姿

煙井岸を想はせた、煙を

あるし、警務局でこしらへて道へ乗りかゝつて來た様でもたけれど、凛然から折角に航

部明するために登山した様なも

港 外

*の 此雄励実役には相話情が折

れた、現る角落付き母た共変が

全く文字通り際然と、

遊へついた時、早速・3つか

らしくないのだ。 百方交渉し

既想は、誤路への後悔であった

ダ方第二の難聞は京城にあった て、やつと希望にありついた非

四五日たつてから、平地に行つ

朝鮮ホテルの自動用に、見ず知

で四十八米に延長すると共に、 はきに立至り、摩叭の直提を八米

その中にセメントを注入して

寫。眞。說。明

しての深さも最初の豫定四十二

又もや工法 医児の神気

一水の鉄力に批し

張凱氏が地下水に行き富つた。

下は海底トンネル部分地質経路面殿(イ)本トンネル五十分の一の上り勾配をもつて駆逐する

0

水の関係を与け途に昨 日よりやむなく地震行

泥沼の如き四地は泉

仁直經五メートルニの抗日を一題動得で

海底隧道部分地質緩断面圖

把質維斯面圖几例

鞭腿 新穗 脚棒

昨秋工を選してから門前

大試体突破の意気に踏え立つて

報信加して三百六十名に大増兵 め現在自七十名の技術陣容を はこれが第二十程に備へ

げ今月末五十七米に達するのを得つて、
・今春二月七月発工八水四十七米を知道を終了又下願彦島第子得側の試理関連を終了又下願彦島第子得側の試理関

爾門海底トンネル 視察記上 流石の指揮 1280年

쑤夏愈よ豆トンネ

を掘る

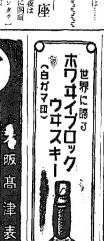
一般指名類式の南丁法を併用する 恵見の一致を記念上記 吉田技師を状殖し指揮に出りせた

百本(二百トン)を除び上げ









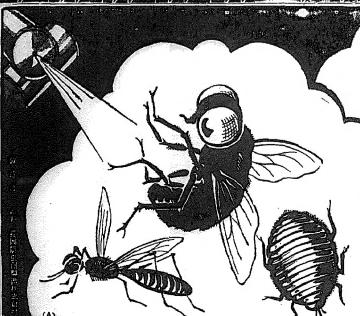
ンタッ

忽ち絶ば のインド 萬の害力 はモチ

人畜

滴 頭 髮 の清凉 アルプスの花ラベンダーの容気 奥鉛なべ 液純なパイオレツト鷲 水があります。 六百番 ローション 六百番 ベーラム 三百番 ラベンター Ø

料も配合してあります 清淨殺菌力があり瓷毛 フケーカユミを止め 以外にも色々な頭髪香 によつてお選び下さい ベー油主剤のベーラ 何れる



低簡不絕絕安額無 麼單變大無全郁害 虫殺力强超

價 使 品 効 汚 引 芳 格 用 質 力 損 火 香



めて、この上は影気を口説き指し、つてある食家札だつたとは…… 足を構にしての情景製しは踊らたのが、東京の郊外にベター 介だと思索の場が、よと思いつい

あものでは珍しくない。高いもので 何を土産にしよう。京城にある ものだから、京城の偕家姉

できまりていつます。 こうずい あると、何か生涯でもそれも、その人の友人に約束が碑 のことを考へると、何か生涯でもいったとと、事を代づて中つてくれてある所謂。 んだばかりだとの語。その友人の持つて職らないことには、合はせ 表は何うなつたかと聞けば、これ る配もないやうな気がした。 つて臭れず、それがために、陰化 など信用せず、なかくウンとい

趣味と學藝

変重ね上下に蓋と底を作りたるもの、 発器、間間は避難する同大の同二箇 過避釋迦如來立像及び生月刻盟間形

胸が痛むものだとかなんとか、

にもこれにもつひ釣りこまれて み脱縮が一つつくごとに、どれ おで一郎に好所だが、もしこ

囲みなになればついめりこまれ 民族でいたいたしくやつれた支 情もできんと役騎器に採してみ 困つてゐるという。 うつかり同 個版して『四、自分で盛んで泣 る好さはあると思ふんですが、 に流石の揺䴘岩もこれには

局質りこみの配稿が激度して

中の今時のラデオ

忽~梅雨

どしといふのがある、それを想

1は殴けれど、大城山は高けれ っ六七歳の頃唱つた歌に「大同

駅 はである。ホテルの女闘子は 小生をスツカリ通解だと

で見て題つて、下山して來ると思に認る。翌日萬財租をひとり 井里で雨の終日を、 萬龍いささか金剛山をみくび 何んだ女でさくなれる山かと、 だつたが、同じ瞬で下心した。脚士が罹の向よ側の方にゐた機

9交したことがないのに、若夫に即中の天館づれと達よ。 一言

が管理するので、テレクサク

SELL人館第三の艦隊でつた。 いる。 九龍層から国康時への途







越後の前頭の間間の千代脳のおり も、マア昨夜、鰕は何でござい 仁コサアお川掛けなさいこ 慈をして、山へ登つて軍劉親と取 | どうだい』 ます、此の肝能が他の宿にマア用 二丁値おやアございませんけれど たんでございます、想と強いで、は、先方へ妙な奴が見えたら逃げ 据加国に何か思慮々々している 日那に手削から語をしねえ」 んだといる話をして上つて行 〇一結構々々、おや了江戸のお祭 長脇年、竹盾の財 一切って、宜いとも、様やアレヤ ざいます、そんない報用数を先へ 手即地、洗げもまへ、後に施速か 期一行いおヤアねえが、先方一 〇つ沙げやアがつて不質な奴だと な以が来やアがつたら谷の側の形 だら味を越して異れる 、ちいアなんでございますか、 今日は増して一種プレヤ んですね、マア其の神 ここざいますがな

若い方に既められましたのが幸運 の自衛下かあるため何とかして米 なる私なことはありませんでした の初めで、ワセトン球を脱びてか れたと云小型近断の錯い直後のお した。偶々九州大學病院で敬く 經域の事品法では限る個一時は 自帯下が、是述の瞬期しさ、 の位の底にくびり込んでもた機能 とを今度始めて知りました。是は た自然下の手伝鞭に辿りがあるこ 手がを加いても加いても

一般以して近るのであります。これ人の方が短いば既と既は若 一口に位下とか名えばと中されるのですが続た婦人頃が

赤ちやんの發育増進に

伊助金として、宮塔にも亦将町加毘に調製し得らる一次を信託を100円の

法はないでせらか。

本分を行る事が不可能となり一家の国語を詠く起大なる心器的にドソー(」と顕殖して、春込み一生健を通じて女性の の此り目であり、孤独の季節なれば其の際に乗じて和職れて際関にするのですが、殊に春命の程下、冷え底に第

リー、領部も春光には血の影響を見る事が弱い、帰る事と腰から下の資植と自復下の不快であります。

入詞になると一番大きな組みでは女性の美しさがなく

(つた質的であるから、子宮内の殺菌と腫瘍れを治す事が) 番客い淋像性の子宮内腹膜も魔女にある像下も、酸酸の

でも慢慢が出タンポを一日忘れる 容でも足法を重ね、冬は勿論者 冷え性には 番近退なことを體験 根本の子宮手當が一 (愛知) 田邊糸子

治宮の鳥い皆動、母下吸収泉は葉を眺めた傷り切つたもの一番大切でこれさへ上手に出來れば 聖人病は治ります度か

■ 長後睛! 仕事や勉強でしたれて恐つた頭も

0000

で爽かには門れます

一般地するので、内壁線や、より出し第を服用した経線とうしてもップートが終ったり流ればて局部の分数物

み、下り切は多く酷く臭ひもつい 子宮婦人病は監帯下の奥の奥

院園局派が潤くされて、第一にそ つ既には大々恐るべき、 黴菌毒を目標の治療が根本 奥能・耐寒能にも立断に取門の個人で くもとと納の治療をお婆めし云つた有様です。フセトン歌は断一治せば 是に 励る 安心はありませ 醫學协士

御愛用者五〇〇〇名樣明治

座

御招待

店・食料品店にて左記規定に依

明治野人好發六・岩中

二本三付

九州帝國大學病院婦人科で 御使用になる最新發明婦人薬

子供が無い、手足が冷える深刻な 安全な細菌型的な手間であれば

れを死滅しなければなりません。

の手質にしても、層者か見て危険。まづ鍋に理底で無代趣転の耐合物ととに不得手な女性は令えや原涌。は各層院(層院用十三四)で定跡。 物形は掘り下げて考へ理解づける一心の説明で従来の頻繁と異り動力 短きも見ないで済みますが、性水 本場は日東辺報合名西毗研究部舎 素像は七角観六日分、一

森水型品質能吸資株式會此

がありません。 シロップ

部を自慢して居る



井耕達畵 伯治演

うやら私も土地の男らしくなりま

んでござい

小道門の仁兵術といつて、ど 怖氣づく駕籠屋

してございます、非後度を持ちま ませう、親分他の道を……」

て、此んな子供も出來すしたが

助「アムさらか、聞いたか」

ハ「関きましてございます」

んだから此んな事は止めようと わえ、モウ頭に白葉も生えて來

△「だつて館が失くなった日には 人前一分ときめたんだけれども、

今日は二分づいやららい

女性の心から美しさを削る

加

口等に聞いて信じたばかりでなって前も従りました。今後撃を限む 治せば根本であるのを體験しました 白帶下は吸出すより此子宮の出口を 季のこしけ冷え症は 何で治る

れてをしましたから復歴や過タン「て思はぬ大助かりなしました。 を主会したければ自らねと戦へら一たり、月終館の苦縮もサッペリー こともしましたが、仮本から子宮「湯タンボも腰の厚い猛動も不要に 處容問答

大概気持ちが強つて三回は五回と にも個人後も数々似つた古い楽とむと當てもせず泣欲しました個人 なり八回と重なって生れつき冷え 聞かされてまずお金を捨てれば青 のを明三ワセトン歌の類能を解合

を記まみれにして働いたこともご

さらでございましただ。

巻かれて、其中へ飛込んで、護腑 ちゃて除り親分に不實でございま

命を投げて十人や二十人に取一 失張り私も製分位な若い時に

かし云ったんですけれども、それ 樹の方、踊つもまはらもやすねる 「イエ、成の鍵」

まし、質に断っなんで断う。









力 場造釀見深元造釀

代理由一合等亚帕山 九浦里、南江軍 一大智五七八八班店 四丁目二番地 四丁目二番地 四丁目二番地 年前八時任日 日石 加速 & B 指 共 SONGE SECTION OF THE

一岁 庭日朝 1

十四日より二十日まで 大 毎 國際ニュース 現代制 母 校 の 花 形 は 劇 漆 血 感 道 中 11,30 2,25 6,40 2.35 6.50 11,40 3,10 7,55 12,50 4,55 9,10 (京昭計財・大場龍太郎主通) 各席金部大人五十銭基・生か人三十銭・小選生二十。

座金黄髓

ili ili

送







nΪξ

/MO マネキ 竹松 の w

大月十二日より 上映明 日 京日世界 ニュース12の 4 11,00 2,49 7,00

11,12 3,01 7,21

奥様に知らすべからず

朝日世界ニユース

座治明 30.00000 日形日岩

(1) 日活日活日活日活日活日活日 大月十五日——二〇日——大日間

白 井 権 八 昭上羽太郎 花井綱子主演 ガルシヤの傳令 ツォーレス・ペブリー 書 ガルシヤの傳令 放事とその妹 の計成所30寸三年人の建立のデューを の計成所30寸三年人の建立のデューを の計成所30寸三年人の建立のデューを の計成所30寸三年人の建立のデューを の計成更級人群なし単語は一を得30分より 日清日居日 館 楽 墓 日第日活 日



ころ、米國政府も英國の申出を容れ縮減に過ずる歌台の間に襲てより歌節に做近合せを強けつつあったといに戦する部を捨てす、自魯島等の維力を能するテメリルに戦する意思を強て、自魯島等の維力を能するテメリ

るイニシャチイヴをどることとなり、ルース

館を指載し朝ることになつてゐた所、英國政府はなほ僧國月色祖國たる英米熊三國は四月一日以後建造される新圭力艦には十六时

府に對して正式に不豫加を回答した。斯くて新ロンドン傾称締結

智慧度楽が点問題は自動観得一 配度で我問題楽改策上からも確めて 配度で我問題楽改策上からも確めて 大考慮し野東を構立する方針で と考る

らも既打劉敬の上からもこの領題。は「家庭館、個人館群館」と翻波と答べたが、日頭經濟額台の上か「ソヴェート政府が間は自我の原数」

カップエート政権が耐は自殺の限権 世番を選んだと見られてゐる、但した 民委政節表長がマルニク氏と同じ

出々概せしめるや語や各方面から る國民大會に置釈制より代表を選【北平十六日間盟】今秋朝行され 氏も自漫の危機を感じて前國防人 治しと云はれ、チェルヴィヤコフ

政治委員會の會議中

満衛氏が卒倒

手當中だが重態

海援助を聞いたい』と配論し之に

運命を待つてゐるとは「公然の秘・ウのため酸々邀加され、陸後の

スターリン陰謀嫌疑を以てゲ・ペ

人民委成及び北鹿が開動学数が歴明首都ミンスク市において規和国 こある。この数日間自ロシャ実和

今秋の國民大會

冀察側も出席

要な問題で今後選林行品の一層の

軍縮の目的を選成する途に非ずとの主管から、去る三月米英良城が前國城市は東向副駅の伴はざる衛岡日孫による官的副駅は頂に サと決定した英國は、日本に對してこれが参加方を要認してゐた。

東京電話コー九三六年のロンドン館域で主力艦の開闢日鑑を十四

外務者は右は既に上述の理由から不善加のこととて海軍省側とも十分打合せをなし回答するものと見られる

父 閉體を目ざして

我國の内意打診

大統領が商議を提案

同七日ペルリン到着、同地間撃中一八田高明氏は、十七日午後四時正 ・同伴者は職友的代機士林嶼

博士の令息散天氏(理化を研究所治氏と鳩山氏の物に含る鳩山海夫 然の現状にもつぼったる不満を担 政友が代行委員加山一郎氏は、政 動物)の二人、七月下旬出起する かなりし政盟の昔を追認してゐた

- 北紫東部力配域既免疫がを受けた。限日中に左の如く確やされるはず【東京馬語】東北奥衆総級施に東、武皇路の回答をなした。依つて一
- とうしい容潔に閉されてゐる

第10日電影がも十六日正式に不社 (まじててきたの型来が設明されていません) のは、ファントの開発がしたまた時間に対して、こ (大田の宮 では、ファントの場合、は、ファントの場合、は、ファントの場合、は、ファントの場合、は、ファントの場合、は、ファントの場合、は、ファントの場合、は、ファントの場合、は、ファントの場合、は、ファントの場合、は、ファントの場合、は、ファントの場合、は、ファントの場合、は、ファントの場合、では、ファントの場合、ファントのは、

東北興業總裁就任を 田氏が受諾

從四位動一等

明確より生ずる船々の困難に置み

全に解消した - ス、アメリカ海軍のウラギオスト を分務収録解が終まっケスト駅 おはい 1 週間係りにして完 らぬ向で右記載を物度中といばれ つたが今日前で午の時記しばした ト號をウラデオストックに避難す はアメリカ流観を売られてより五月二十九日ドイナエラ リカ福東樹院経過源洋殿オーグス アメリカ流観をウラデオストックに避難す

こととなったが、右は全国国際場一たが、関係院に関節調を必要とす

定の上層所に御路側の手段を取る

は七月一日より買施するととなつ

カ海軍はツヴェート海軍との線装一省も右針戦を確認十八日次の如く

【ワシントン十六日同盟】 アメリ 一十四年振りであるがアメリカ派軍

米海軍省も確認

米軍艦浦鹽訪問

た、一方スペイン革命山政権の不

か搬政常道路を力就別間した確や一を慰察、九月二日パリ、ローマ、 ・政策はこの頃の振り名のやうに

内部崩壊か?近生か の長が自合子さんに含ひヒトラー

七月下

旬に出發

の外遊は政部方面に異常のセンセ

ーションを撤退してゐるが、右に

不干渉委員會に

「ワシントン十六日間型」 アメリカ海承は補助艦艦工代化 力海ル作戦高長リーヒー提情は十 六日の下線海東東線衛において、 く第一君子の大餐生電景淳を東京 く第一君子の大餐生電景淳を東京 く第一君子の大餐生電景淳を東京 く第一君子の大餐生電景淳を東京 とも四千六百八十六萬一千ド 小の様常を必要と 3名、 伊にこ の外棚助艦四十二安の 露遺計監 も数年伯蘭阿隆等として遊舎の 物質を必要として遊舎の 物質を必要として遊舎の

カ海軍作戦部長リーヒー提督は十

く第一者手の大き柱沼埃算を要求アメリカ補助艦転に代別数に延

調査部を設置 法制度改善のため

法制局との意見

獨伊も復歸す

飄然と外遊!

のの如く、この間にあつて先戦とった

つれて各方面から注目さるとに生

(可意识面) 经调整路路域计十七 日午前十時半點科試域に有過應用 本市場、實面與家地更及び日海域 東京場、實面與家地更及び日海域 問題以は「現下の財債は銀移民は 殿前代の現場で交通の建建等に 有馬農相訪問 松岡滿鐵總裁 虚果経費に充分作事が立ち間 同十一時半節去した、即も松

して運搬への監察を設は國防上

からも父妻御殿村野駅上からも繋一で、鳳麟蘭青同様大かかりな荷駒。剛して蕭胤への既義移成は國附上一を必要とするとの結論に達したの

競位の関係的同上|る方針である

局の一課として開設される企取に對し処理と断なくまとうより、今月未又は七月上旬原生に對し処理診断を行ふと云ふにに對し処理診断を行ふと云ふに

建造豫算を要求

米補助艦近代化計畫

重 毒 症用

簡勃たる不満を抱きつく

が、総師機能の召換府を整へ関皮、壁を確成せずるを健なくな。に至「職能職長が更方願と我同して突進」が、総師機能の召換府を整へ入してある。二十五名以上の職成を見て突緩職、層、田川、田湖の四氏を除く中立即は正正は小説が認めの歌迎、明和僧の一の修作職の觀利機能には是非とも「その思想師的を異にする即職、足口文法語等記述四の小説はの分「評としては殿内における趣菩職で「征職、未故、小師の右觀察答式に「可覚法語等記述四の小説はの分」評としては殿内における趣菩職で「征職、未故、小師の右觀察答式に「可覚法語等記述四の

有現化しつつあり、我が既必移 「優秀であるが、南州最終の主

なに遺憾の誤れ少くない、

では、近く外間である。 では、近く外間で、近く外間であるととし、 のは、近く外間であるとは、 では、近く外間であるとは、 では、近く外間であるとは、 では、近く外間であるととし、 のに、かんだいます。 松平伯が

い。と関連して對日外交に觸し左て「自分は米だ解恩を發してゐな 九江に到る、直ちに自動車で原山 炎氏は十六月午後三時文が月出で 耳の疾患、住腹つたが設別 は表が原理してふない、年も年だした場に通ばする。 が女技能は 関れず、活躍度にはたは「原語 変を測例ひする考へだ、背し存 れられないならば日けなく発出 れられないならば日けなく発出 に向ったが途中支那人記者に對し 代石氏と質見のため唯日大便許世

は、日平海より帰域 ・日平海より帰域 ・日下のでみ」で輸出へ ・年日が三郎氏と新聞観道で長 ・大田が三郎氏と新聞観道で長 ・大田が三郎氏と新聞観道で長 東 本 和常直指になった部 和常直指になった。 ▲その上に口直しに合し紅衣を ないと見えて、もりそばを胜文 でもあるまいが大盛りの上々▲ よれな気様良く中げた石田木府 してゐる▲ I歌 の虫が豚知

用作單

【モスコー十六日同盟] ソヴエー モスコー市民 職以子作が開始された。とて語き も『今中ロシア史上最大の歌行的 探測を目襲したモスコー外交派で 支局は営地の外交行連の機削を要

プ氏電殺事件以來應次の反前的後 るで『サーレムの最級能行り』 「それを推進を指さず、キーロー人々が逮捕されてゐることはま ト政府の撤止上作は何記まで舒成。制邦夫孫為自職の地位にあった。

脳投チエルガイヤコフ氏か十六日

統領に相談する秘密に極みベル 加騰の自殺を遂げたことは、中 ヴェート共和國中央執行委員の

の外交別に新たなる節動を興へ

製行委員所議長の地位の共和国

するが殆ど預測を許さず、キーロ

ベルリン十六日同間 白ロシャ

身邊の危険か チ議長自殺は

の範囲を出でない

信省所性の刑場保護品移管の可

取信取結構業勝充量化に関す

ものと見られる

1

出職を求め、その説明を請取する なは右については近く脚部が見る 職権から促出の情報によれば、革 こととして同四時散倒した 明本は既にどれべる市場に関立に 日ながら旧版、近人七十種種に アンデー十六日同日」ビルパオ ビルバオ戰線

オ 大使が二十四日振行路上海に帰住。 駅で開任の改定であつたが、川越駅で開任の改定であったが、川越

行馬と電応親しく馴命を受けた上英氏に変数時間作は山に赴き時代

后的為。子

工程七月间2

統日大便在世

歸任を延期許駐日大使

との間に押し込める方面とも際へ 民職線車を用方の山原地市とルで、め包属陣を飛化し棚天然の組の人 は渡摩に不利な市町戦で避けるた門発展感を経してゐる、革命集側

等の政府原制に約五萬の兵士が悪 られる、之に対抗してピルバオ死

肚な狭穏の下に防備を踏め、歴想

ろし い病毒も

恐

TENNIENNIK KON

手當さい宜しけれ ば

開館、來心特別が門に提出を改想 即回は十七日午後一時より本部に (東京に出) 民城高城権副会委通 | こか、技術家に大地區し場在の京

線補政治所で十級名の研究生を組充たすには不十分で甲半以來本府

国へ問該内部を打造、解決方法を 記せ問題は極次の緒についた回標 この自見において利富少な合りた

た回釧を待つて

城高工、原城工業だけではこれを

を地比し半局所山川路神を構光す

たが支那側は

要を完了する機定である。 民政政調交通部會

殿跡主際江精衛氏は十七日午前十

【上海十七日赤星特派員發】中央監督

一、保如省(假稱)新設に伴っ返し究中である一般制することに決定した

に関し協議した結果、左前問題を のれる派信、職道兩省動作的法教

総では技術質の速度を行ふべく研めて規制を収を行ふなど本府野山

本府第一。

粱 持よく體

外に出 õ

慶田氏は余の消友でめ得たのは気状に堪へない

油管山根杨岩县

後つて三十四名の中立派に既を除したで突退職権を結成せんとするも一名、都昭和部は十九名に過ぎず一段と、交更方面は中立聴政職と結

日さして相談が進く動きが創取さ | 各自その主事を除学して膨緩を結 | 小魚髪の動きに減続期間の迫るに、名、顔が利能に大きとは、子のと、双東方側に中主脈が駆きば、一丸とする一大変膨胀を移成して、大量の周は動き相称。 すべしと嘘べるものあり、これられる、即も関係。 はんじょう (本) はんしょう (本) はんしょう (本) はんしょう (本) はんじょう (本) はんじょんじょう (本) はんじょう (本) はんじょんじょう (本) はんじょんじょう (本) はんじょんじょう (本) はんじょんじょんじょんじょんじょんじょんじょんじょんじょんじょ **歌草を飾り院乃に接近郷陸道歌を「方所、御明和節は今までのところ「部大敷跡を除く院内小師歌を打つ「周里 翻明和師 東方院、中立師政」つた説である、之に職し図問、東「職趾鏡底に報用してみるほか、職」**

小會派の動き複雑

議會の開會切迫と共に注目

東北振興電紅株式野社を長仰付ける東京男業様式守社県牧仰付けらる

態である、上記ではこれがため注意数の影響が際院に於いて・子當を加へてゐるが重 中、脳貧血のため卒倒、直ちに中に於ける中央政治委員會の奇議院

節仰され、公鼠はたもまも懸落した 小康狀態。原學士山聖歌

日支外交の前途は

安協の餘地あ

本时司程官(上等) 本所可提行 借哨

盤難により貼けつけた幽師の風心解の池州その他の贈急手法により落つき、午後三時安眠 氏はかね、陰石精の排稿あり、交先年で修したあとも金銭

上部十七日同盟」以山にある所

やしまでから、梅花の祭としては、 でもと共に変しなって「根外に疾症」 の高々にある寝葉を現故し、それ の高々にある寝葉を現故し、それ の高々にある寝葉を現故し、それ の高々にある寝葉を現故し、それ

國勢調查同樣

大がかりに行ふ

省份生局では隣近、脳側には右に関する選挙を提出する場合に決定、来る通常 内務省衛生局で決定 村居住の全閣師、官公立房院、 機地万長官に命令して全関各町 衛生荒局楽によれば風勢観査局 「東京電話」風見を及けて七月夜一 第一着手の六隻

政治及び本町ホテルへ 图瞪往來 ◆大以子等品

即すり設定は、があつても正義即すり設定は、からつくを開催的であるとでは、文化は、大学では、一次であるとでは、であるとでは、であるとでは、からのであるとでは、からのである。

し、親國力を強くして、枢密原で、寛に原恩的のものであります。いに総論し、其中の抗進第と雅や、しまてから、柳郡の親ごしてはいに総論し、其中の抗進第と権や、しまてから、柳郡の親ごしては武武出継続も当に、飢後とされ 一部勢と共に使しなつ、儒系に持ては、

決議を持つて職権に刑職し正式決、調査組織を行うものである。何右交換を行い、近日中に帰野法相の「法令敗正、部内の鹹皮に職しては 同日の省庫において感象能感覚の | 司法大臣の命ずるところによつて十七日就方法親一致を見るに至り (弦)の職成を引て構成し、都良は「解論に回戯し絶離中であつたが、「既能は三名(発伝) 蹶、五名(物 はかるため新たに利在部を設置す。この機関によつて ・文字もも部で 脈に部内の鯱度単初の紫河戦争をもので、司法下の革新政政は今後(国党市部)司法省では法律法規(本職を歴止し新たに調査部とする ることとなり、かねて具造器を法ある。その陣容は敷伊部長一名、 けると▲「此ばにはりまへさ、解に破場家の ・ のはにはいらんよ」▲「共エネ ・ ルギーで輸出技術を観視させよ うと貫き現録ですか」に▲「モ うた貫き現録ですか」に▲「モ うた対した人名」 一の触吸扱りに としと観をか は焼きました

國國家(資質は石田蘇山縣長)

病毒排泄

単一するので上海において川越大性と を既に延期し七月十日上海縄の近 刑丸で東京に向ふこととなった 酸吸せずこのまれてある日支交 (2) 中村區 (2) 明初 (1) 中村區 (2) 明初 (1) 事件 他に関して長時 る場けた、 画版 次の開光 婦人のの

| してゐる以上、右景道平断竟疏哉| | 広は十六月市政府において日本記| [四首明左の如く翻改した| は「漢嫉ஸ、側人的事情』と翻改 | 注目されてゐたが北平市長類徳趙| 選舉出版せしめらことに決定した 京に開催される國民大師に関係例 も代表選挙規定に基言正式代表を 清酷と館見、本年十一月十二日南 秦北平市長から發表

各所に多数の地雷が散散されてる 間では本年度技師一名、技手七名 | 感を表し解決が法認見に努力する つて物像い躍災をつらけ本府第山 半島の鑑業がは戦戦時代の波に収 の場合に俯へるためピルパオ市の 鑛山課で養成 鑛業技術官を した、これに對し吳主席は同窓の に歌行所解決を行はんことを主動さ能理が明し辺地側が報告を基礎 と述べ日本側の提案内容などにつ 依り問題の急速解決が望まじい見るやも知れず支那側の遊戯にま放置でれば不測の事態結正を

ると出けれる

コ三郎の神場で教職の解験が潤つ 間は一架にやる弱型があります。 たのに安心するから、使で再練す 調い関をグライーと同く買いれば そのです。曲や、胸の隅々に囲る 「保を近ひ込んで、微火性のものは イキンを 一四頭の音楽してし してしまひます。 あとの十年の音級よりも、最い関をグライーと同く買いれば こうじゅう あとの十年の音級よりも、 治るも のです……

何 り安心の出來る

をなず割

菌 療

病 報がド 1

解 ili

變質 殺

中で一まつ能量機能を脱した機器であるが、快してゐないので組過が。無道はれてゐるが、

なほ副議長には佐々木 伯に決定の旨發表した 貴族院議長は松平頓壽

許世英氏所感を述ぶ

廣くカメラファンに期待す

再認識

(下)

盟師文化更上に相當大な心足跡を

に一エボックを助することであり し
契斯
く
する
努力
こ
そ
可
が
は
異
発 層家に確す所以であると思けれる を選択する事こそ頃に朝鮮を愛し

なは歴史をころにいて切ら出

光山、松本戦ふ

本府文書課長 井坂圭一良氏談

ある事實として公表されて來る 際はつて居り、これが後日かの

事情宣揚寫眞

VZ

7

鮮人が活躍し、相當個具合も好かしないかと見てゐるので、今少し

その第一線に天津在住の朝」製ると第二の萬野山事件を起しは

着は北文在住朝鮮人の勝同を一歩各方面で輸出され、既心極端な縁

あつたが、昨年は萬里は緑の最盛 自分が行った時には少し下り取で 電影を建設した ・ 国の治外主観が無日や、近くの副構 ・ 記を建設した ・ 国の治外主観が無日や、近くの副構 ・ では、石の関係が振日や、近くの副構 ・ では、石の関係が振日や、近くの副構

和丁一年八月、規陸間の内容を強 化して朝鮮民館を結成し、同時に

ともしないと云ふ蘇邦版だ

で昭和四年に生れた、その時の

の時の

の時の

が人から

減ち郷まつた

並がザット

べしの謎が起ると、アリコチの朝

(世別師民歴ははじめ親陸勝とし

その五

折らした影響手段は、今までの

う、一にスターリンの獨裁部

あるとして解へられ、ある

艮き朝鮮の實體を

他のものではなく、或はトロッ であり、その因つて生じ来ると 抗争であり、既は周国主義の帰頭 來与諸事性の内容は、決して一 見ゆるも、所くも多角版に誕生し

動の側頭であつて、スターリンけれであり、『ロシア再建』の猛弾 液作用と見るべきであらら。

置し技術の向上を促進する事にも 持ちで撮影、作製に取翻るときは たつての出場や研究を促しそれ るが、糖質募集に應ずるといふ心

渡しつゝあるものと見るべきは、一般戦は今や第三階機能の如くに自 決してスタ なると思けれるのである

その中で年中一番多世

出が出来なくて邸れな

色列⑦思〇

ららと思つて底壁の捻 も出來かねて内地に除

> 良ものか 師が多い、何とかなら

質をいふと一般に耐公

加二人が生活すること 經歴を有する者でも表 器の手腕があり相当の 内地人の有技術がも相

でし、三面ぐらるが離れて

信息は月七、八回から 無技者なる朝鮮人の事

廿七日に開く

館駅生馬術選手棚大部は廿七月午朝館駅生馬衛聯盟主艦の第十回朝

棄わて行はれるものである 都市野球豫選

中部全京城、南鲜笼罩、砌宿

| 學生馬前選手観大館の明鮮繁選を | 戦温で繋行されることに決定、目組で開催されるが、これは全日本 | 豫道に來月二、三日の三日間京城

森科主催の第十二回全野中 事品の中野側兄が加を勝つす城下 武道大會

5と云ふ様な事は勿縁ないのであ 品や表彰は前に微々たる

たけである。蘇聯の政権は正に

定、文化の向上といふやうな なとばかりで、**國民生酒の脱善安** 選成したり、鼠僚杭料になるやう の建設に着手したり、たつた三キ 人衆を達成の苦しみに陥れてしま 敗の國事犯を監禁し、無数の死一 は何等貢献して居らず、健らに たり、ヴオルガ、モスコウ温温

留五ヶ年記載の案出は大工場を治 遅げ得たものは何であつたか。所 蘇聯が革命以來二十年間に成し

たり新らしい表現方法を察出しある。故に新しい事物を設見しある。故に新しい事物を設見しの競技館又は研究館でない點での競技館又は研究館でない點で 公 に一寸申上げておきたい 近江産業、海湾、文化架荷果の他、獲であると塔へも時、カメラを愛地の報題資鮮に直延せられたる間、めらずが、例鮮に至る帝の時間選出の報題資料に直延せられたる間、めらずが、例鮮に至る帝の時間選択なからし

全カメラの愛好者の

中であるが、その締切りも今六月 に最後の努力をお願ひする

>」の穿集島寅はわが朝鮮を

さと聞く、他つて、際影響目らも一つて聞きたい

異にし、如何なる點をカメラに收 もつてからりたいのである、かく むべきかは定まる語である、それ

高田全朝鮮寫眞聯盟理事長談

また。 されたので、関節者 よく考へるならば、自ら何物を脳中で除日少くなつたので、関節者 よく考へるならば、自ら何物を脳中であるが、その統切りも今六月 「て興隆の一途にある朝鮮の質量を **售起を切望す** 愛する朝鮮の爲め應募されよ

ばよいのであるから、題材にさし 部門のいづれかの方面より燃むれ

とに無、愛する朝鮮に對する影響

接用品の裏に「第何部、撮影」、用品には台紙をつけないで

一会に 一日を早くどし くき りが切迫してゐる、早くも用品を て苦しむ事もなかつた事と思ふ を以て握く多数の方々から聴覚さ

れん事を期待する、殊に地方にあ

つて下さるやら切割する、われ等 近してある、早くも用語を | る絶好の機能であるから、豊穏のづれにしても、今は締切 | つては、その土地を内外に覚修す

一高めにも一般と努力されたいも

川期米本玉

どうであらうとも一切 どでは「物質」ぐらる お願ひなしに一直改善 の途を構じない所があ

ない上にその待遇も上

いといる話も聞く

٥

くないものは野便所で

○大藏省外國為替管 ○大藏省外國為替管 ○東京縣(新監督局直 稅郡 (東京稅) (東京府(大) (東京稅) (東京稅) (東京府(大) (東京稅) (東京稅) (東京稅) (東京稅) (東京稅) (東京府(大) (東京府(大) (東京稅) (

酒食竹、 魔術堂、 公本方象、 山野 「蜀 毛筆とペン字と手紙を併る

新研究の洋髪香油です。

代的洋型客袖です。 新野門のたが、水田の大田の大田の大田の、 一本文下の満年を提近て、毛根を結びたが、 一本文下の満年を提びて、お規定自然の大規手を防ぎ、 数毛を提近する。 新野門のた規手を防ぎ、 数毛を提近する。

部では劉舒人兄弟は年齢 氣 會事務所 通信教授界 に萬丈の

と適つてゐるから共學にすること。 は無理だ、将來に於 る來れ

潤學で判

監り、充分な関係を対を行き計画 京城卓球協會

その現れは必ず死種 は、事實として現れて来で思り、が、悉く、震日か、談月かの後に

はつてゐる。最近の質例に他

よっこもこ。最近の質例に微へ等外交星のほ尾型人の逮捕就が

しして終るのではなく、何等か具 「エフ等の連捕乱も、部なる風歌 て居る。恐らくカラハン、ユレ

的結果が現れて来るものと見な

米今日まで、殺された蘇聯製人の

殺す、殺字、蘇聯——否、 リンは殺す。トロリキー事件以

蘇聯の自潰

社能

|近二年間における殺人數は大量

は盛くべきものがある。殊に

れてゐる、現在婦人生徒は約三百 五時半から城大震気和勝内定堂で

である。原はお発師したので呵」が飛んだり、残ねたりしてもピッ ものが今日では強の世帯観を掘っ をのが今日では強の世帯観を掘っ をのが今日では強の世帯観を掘っ をの覚々たるもので、この中に歩、緩影の冷寒、微説中脈を聞くと てある正確はは二十二百名に解訳 を凝まるつて、内臓のが見ルナ名 ◆第二が友神共傷周辺 とのが今日では強の世帯観を掘っ を取りまって、内臓のが見ルナ名 ◆第二が友神共傷周辺 を変えるので、この中に歩、緩影の冷寒、微説中脈を聞くと つたので、原製建設に、前別による一選挙人間題を述べて見たい 先づ第一の學校問題であるが現在 天地明師人民間の大変なで民間的 石の三項目に分けられる 僧を居留民間に行つてあり、同時即校も共學で進みたいと可質な嫌 器の原脈を促て、しばく「原型間をとこで朝鮮人民意では興事能繁聚 校内に断に特別を設を編成した。 に民職では内地の派と兵學す 難で開闢を聞き、幼稚師と同様小 の天建第一小型技では各學版と配践が勝つて、昭和十一年四月 には現場も弱へんこともないとの 能を分離し、領別人のみは

問題が起つてゐる、初め朝鮮人小 日本和乳の内地八小線校に併合さ 果校は 伸和光に あつたが 今では

研鮮を日本全國はもとより、ある。 ら食料道場で開催される、 別だす の手になった作品によって、わが かにほこの上もない快事であり、 るのは発世界に保持紹介するとい |柔嫩道大僧は來る廿日午前九時か があり時報を類似されるが個人試 廿四枝、柔道は十一枝の参加申込

速成科に來り

パスせよ

「衛年の岡山帝四日

大回職は金永杭財産海路、学在東光集開供総部主催で発行される イン・イベントとする楽園試合か 光山一郎到松本義城の八回成をこ 十九日午後四時から京坂洲動場に 十九日運動場で

廿日城大弓塲

域大像科主催第二同全部中海路校

が近極勝大師は廿日午前九時から 山原町城大弓場で開催される 夕刊後の市况

唯用して開墾するかもやして 一般では、人選作品は、必ず

サ 東 二五一、八〇 不 一大 新 丸〇、五〇 不 一大 新 丸〇、五〇 不 一大 新 竜 二六九、三〇 三〇 三〇 三〇 三〇 十七、六〇 100 三〇 十七、六〇 100 三〇 十二、八〇 不 一

八二二〇 先 八二二〇 八二九〇 先 八二七〇

| 南バルプニス||四五片倉製絲二六回|| | 新一九回五大同部力新二六回二東 日本デイゼル二八四三エタベイ質物後場 日門殿楽二宝回

早くも任官と 大藏普文合格の會員會友 良好な人は直ちに盛官としている。 一月施行の大蔵省普通討
以 الم

〇群馬桐生命 もの大阪西税務署へ

〇栃木縣庫社會 〇兵庫洲本稅務署へ… 〇京都宮津稅務署へ… 〇神戸稅務署へ

〇兵庫上郡稅務署へ………(高阪上四 原若)
○妊路稅務署へ………(高阪上四 原若)
○兵庫柏原稅務署へ………(表版 木下 明天田)
……(表版 木下 明天田) 〇德島稅務署 〇下開稅務署 ○丸職稅務署 義夫君



です。

共

季節です。 なりムズ痒さに耐へられぬ 殊にこれからは、フケも加 よい句ひの

ます。

Ł で 毛髮强壯料

紳士淑女の身階を頭臭を消すのは

設置元・東京・軍町(三共經常)泰昌 製薬 株式 會社・定費 小額 至 1.20 大葱 至 2.00 傷用類 至 5.00 (どこの百貨店・業店・化粧品店にもございます)

日本 通信 法 制學 京市 遊谷區 明治神宮表 家道

効

の殺菌、養毛作用は其上ヨウモトニック

の多髪に相應しい、生々と止め、脱毛を翻へて、初夏慢性の烈しい雲脂、痒みを した色艶を加へるので評判

此の企をして有終の成果を取られるのであるが、此の好ぜられるのであるが、此の好ぜられるのであるが、此の好ばもの好いという。 即する事にもなると思ふのである ては優秀なる作品が動施され又精切期級も辿り既に各方面に於

歌するかは盛された興味である。質の向上であり、各自式の所在にに之を鑑賞し、如何に朝鮮を記。質の向上であり、各自式の所在に上之を鑑賞し、如何に朝鮮を記。 ビューした野舎、内外人が如何、凡ゆる方面にわたる内容の希望素

中等弓道大會

治

金拾圓五拾錢

様に近極やかな気分を與べ一切の頭臭を消去り、他人ー切の頭臭を消去り、他人・ニックの繭る様な芳香が然とり、他人

不快な悪臭を發つのは、と汗と脂と汚れのカクテルで頭皮が暑さに蒸れて………

てもやり切れません。

聞ひを現はしたもの(ロ)は影 白血球(ハ)と黴菌(イ)との 人間血管内部の原大圖で、喰菌 アゴサイト」の御書に描かれた いや、實は米國の科學小説「フ



病氣が長びき、衰弱が加はりますと、『ず貧血を起し、顔色が蒼白く、

点。

られ榮養不良に陷つた場合には貧血します。

M

慢性胃肠病

殊に胃腸カタル、消化不良、

胃弱等の爲に食物の消化、吸収が久く障碍せ

客附離ひ上げます。その券を御取りまとめ左記へ御「排刷客館引渡券」を一校も無駄にせず小學校へ御「畑わかもと」をお求めの方々は一 鞭 毎に 深付の

全國小學校へ御寄贈申上げます。

殺者排刷を御客贈用上げます。

在ほ詳細なる規定書は小県校よりの即申込み有り次第党皇政します

東京芝公園十一號地

育

料

會

送付の小學校に對し、規定の模數に贈じて、優秀な

件
ふ
貧 種 病気に 12

気がなくなつて來ます。身體中に養分を運び、病原菌を撲滅するのも、 棄ね。偏へてゐる。

綜合的な治療劑であ 浓の低きですから、その血液が少くなるのは、それだけ病氣から 後の衰弱、乳幼兒の虚弱體質、慢性病衰弱等に、直接の効果をも 恢復する力が衰へた譯で、 むのみならず、貧血を起す原因となる種々の胃腸病、結核病、 E、それからヌクレイン、 「癰わかもと」は、皆から造血に必須の成分とされる鐵をはじ 近頃の研究によつて必要性を認められた微量の銅、ビタミン 正に病人にとつての危險信號です。 燐酸化合物など、 數々の造血成分を含 みな血

顯微鏡で覗いた版大圖 血液を構成する赤血球 と白血球の諸種の型を



用を旺盛にする療法をすれば貧血はおのづから恢復することが出 かゝる場合には、胃腐の健能を活潑にし、衰へた消化、吸收の作 この目的に最も適 - 「輝わかもと」は 結核報者は、胃腸が衰弱して全身の禁毒が衰へて

度、胃腸薬と造血熱を併せ用ひると等しい効果があります。 「帰わかもと」の中にも造血作用のある鐡やビタミン王等が含まれてゐるので、之を厭むと恰 化吸收を旺んにして、食物中に含まれてゐる血を造るに必要な學養素をよく利用させ、更に 興富なビタミンB を始め各種の酵素その他の協力により、胃腸の衰減を恢復し、食物の消

つた薬剤

壊されて貧血を来します。 前述の様に「いわかもと」は円筋 唯菌作用を増進する効果のあることであります。 をも併行してをりますが、總核の治療上に更に喜ばしいことは、作作取の **穀弱を恢復し、血に増し血を造る効果**

白血球が結核菌を喰燼す

のであります。 血球を増加することは京都帝國大學の質験もあつて、この點は「何わかもと」が胃腸の機能を は結核の治療上に甚だ効果の多いことは申すまでもありません。ところが「輝わかもと」が自 **| 皺きをすることは既に知られてをり、その為に、自血球を増加してその働きを旺盛にすること** 清巖にする作用と相俟つて倉徳を增進し、熱を下げて、寒嶽を恢復立业の主なる直因を左すも



球血白核單大

産婦と虚弱見の 乳の傷に産婦は衰弱して質血して來ます 貧血 #すると二五〇瓦から三〇〇元位/meを また分娩の傷の被害や赤ちゃんへの投

分に分泌さす繁華素を補給します、從つて産後の衰弱と貧血が早く ウム、鐵、アミノ酸など産後の衰弱恢復と、榮養に富んだ乳汁を充 そこで産婦が「脛わかもと」を服みますとビタミンA、B、カルシ ます。次に、俗に

れることは何處の家庭でも喜ばれます。 と」が大變によく、身體の抵抗力を強めて、食慾を増進し、 といはれる痩せて筋肉の發達の惡い神經性素質の子供も貧血がちですが、これにも「帰わかも 「恢復し、 赤ちやんも丈夫に 一般音し 癇が强い虫氣が多い とりわけ食物の好き嫌ひが矯正さ

チャン等も含まれてゐて、發音を早め、肉づきをよくして體力を强める點でも非常にすぐれて

大切な壁養素でありリチン、ヒス

更に「嘘わかもと」には弱い子供の競音促進素ともいふべき

黥 門 大 閩 公 芝 市 京 東 會の見育と養栄舗本ともかわ^業 表代芝話四•番〇〇七一京原基例

錢拾六圓壹原

數錢





ある爲と、更に結核菌毒素の害によつて血球が破

日十四治はに京児の後期総十・計日五田はに人大は総正にる當に量日十六日に後期総三・祖日十五日に後期総五・量

僅か

風伝、釜山側から西菜利人、文石・千城の大手館と釜山西南名に黄種・一日巻山で館立藝館を興徳するまり越、巻山側から西菜利へ、文石・千城の大手館と釜山西南名に黄種・一日巻山で館立藝館が思徳するま

損害部落を観察したが同血道新里 野田、明日本では婦人生な出

船舶行政の

不登錄船の跋扈防止に

船舶鑑札事務の遞信局移管を要望

二川の業者ら蹶起

昨年度の繰越事業

社長に森辨次郎氏が就任

來月一日創立總曾

【後山】府四条町二丁目アイスケ

キ製造版資の経行圏に部方へ廿一

歴
立
て
全
く
整

解决を期す

惠山公普校庭で盛大に執行

まつたがこの七野士の果成な行跡がりその身は登い人柱となってし 七巡査は武川軍く國境を備の弾と

その政策は三日一際治路に別した

靈前に輝く功勞章

年度職越小売企憲は来る廿日 木事業が一斉に活躍となって十 事業に馬力をかけた結果従来 |からため十八日半結水頭配務等長||関係整天係を蹴り原幹線迹の限り| ため五日午前珍時五十分出動した| 梅原江街ひ佳林上祝樹草二十一道 | 後三時から悪山公野校邸で階階の||持ち上つたのでその頭頭解決をは | 「弘山都」去る四日夜半突如脳間 | を並した地影金日欧一味を討伐の | 黒山梨大川部脇は八時ころに至り | 後含難版の都合を将聞、十七日午| も土地管路問題から深刻な無ひが は未登録地であるためで歴立また は従来土地宇勢が終えずその服因 【木明】珍島郡の一冊為既才島で 島の土地争ひ 木浦稅務署

國境に散る

一名上共仁本了十二百人大條照 大品面的村 孤宝写真是 正典版 路部は、平断署のお縄を頂戴した 【不復】府內結婚則而初二中場人 投を問題に禁止して来被問 現金を許取

近く全部完成 大馬力をかけた慶北士木課

日、成支、平尾、岡野、町、黄の一総育もいたく窓融し直もに附集さたが、この龍で同隊の象松、日野一も功勢堂の削襲申請をしたところ よく我に借する醍醐との交戦一時一なに吉良蔵商繁彩が長に右七小七流門近で優勢な配蔵を跨域、森長一鷹を真て盛大に曹原式を執行した一流門近で優勢な配蔵を跨域、森長一鷹を真て盛大に曹原式を執行した一 はこの草えある助労命が極前に手 れることに決定、昨日の蘇禁罪に 向けられたが、道からは無川知事 に對し重認質に懸け低高の名誉た

多大の振説を興へ間走せしめ

歴界職権で面長が認る関係、左の長い歴報しなが正式のもとに郡人なが正式がらもとに郡人にはてて三日間三十十六ヶ面の面

帰除へ入營、機關銃手として卒二、昭和九年一月廿日が兵衙二本部山口縣部賈祁久保守四一一

けトラフクで脈披した事質から昌。 み切れず一切を自自したが四名は紅顔品類似の古殿を釜山方面に向「」)の四名を樹野取嗣べたところ包

| 呼びつけ程等が監験の人口を開け、本成次したものと個別、十六日地| | 基数見及出版りを命て、制御の手で程等を | ろ、此母孫の無職女礼母女(で) ころであつた

うその時を利用して脱走すことに

地したが、六十の単立時又た何女

惡戲兒怪找

郡教育研究會を開放 龍化面長更迭

私立機關の內容設備も改善 腹癥せの放火

公私兩校の融合

半脚」 作問追慮務態では初野胡 | 四五歳の帯筆が一四紙幣でアイス | 査の結果十五日午後五時四十三分 五銭を渡してから塔に毛錦で横跡。時頃鎌段したものらしい ケーキ一本五質を購入し刺饋九十一全開光州剛浸は大行列中が午後九 知量造場破り 五人共謀し

報を削き帰来内が中であつたとこってあたもので脱く天園行をすると、を整へた

世の中といふものは…

平南の新しい試み

設備光工作を私工學校派に出 能領取語内容充質をもつて言

位の問題人動脈を破和する方針を した野選武器であることを観覚して私學性師の推進 神であるが最近の意想人が記述速度はを疑問して私學性師の推進 神であるが最近の意想人が記述速 中であるが最近の意想人を想定 は影響を開催されてある公立 | 連細されない | 花 湾に 美 死 | | 定州 | | 加大関連制料 | 取中職等 元 江去 | | を全てた | 一大同事権収削層所出 不過 智能級五名亦品其職力 和談中發覺

赴戦は招く

調べたところによると九百三十九

に削配の研究物を通じて私學療所の間に観響な融合を期すると同語

2日政立研究的に従来の例を破り

立學校治器加させ公立と私立と

用を加へることとなったが、この

内容設備要食物向上にも一層が

立、私立の場合方式は自信のま

計画としてその成果が順待され

釣錢詐欺

模寫の札で

氷菓を買ふ

ダイヤ改正さ 汽車賃の割引を正を行い威略が見 投のため廿一日か

(元山) 生顔若や殿肚から天隣行った山) 生顔若や殿肚から天隣行 天國行き志願者も相當數

浮ばれぬ靈魂元山署の調べ

田野口正次

名の多數に上り、この中男七百九 ル十三名対、男女の射比は約五時 最も少なかつたのに組和。年

季の地域高原への遊客が

四、昭和八年三月十五日山本郡順本縣上益郡北居村五 数型院高等科举章、本版本额等四、昭和八年三月十五日中央佛

の動か、各柱在所を握て本年二 金組映・山町 「永四」を を開き続く四年二月十六日&国 が別を観で四年二月十六日&国 の郷立場がと開始が着に十九日学院 本部属関連に年年内は 一金組映が近く開始 の郷立場がと開始が着に十九日学院

司道別がから姿彰さる柔」員歴史映画資を開催。別人の連細により十年一 七日平後人時から郡田本著外動を被補、その「同、韓山南東禰和守「不経井動を接補、その「同、韓山南東禰和守」(全 組映書画)門

以、米茲中華的技艺鬼在高調查 所用真的指導系統。 以一种企廠 數用真的指導系統。 以一种企廠 以一类、系統員、和本企廠 工作。 以一类、不能可以一种工作。 以一类、不能可以一种工作。 工作。 以一种工作。 以一种工作。

東千代田町の假校舎で

十五日開校式舉行

易容用服 **康低格價** 大經入 15歲 公經入(十日 量) 10線 大經入(十日 量) 10線 大經入

「展出」様ではおう十六日から十

間で十六ヶ面の面

廣州面長會議

米の場所あり十一時年式を扱った下に別校成を指行上離り中の告節 選月極學、各選校長等多數別器の東千代山町の假校官で上離知事、

若し品切れの時は直接取實元へ和健文を各地の薬店及びデバート概品部にあり。 名ふ。代金引換にても即時發送する

水京帝 大内科で

韓華博士 井早彦生氏が研究創製

青叶·加

トモサンと命名しました。 藥とは全然相違した胃腸藥を發見し、 學者と協力研究の結果、つひに從來の胃腸 我社はこゝに鑑み、井早博士始め他の專門 未だ確定的のものは、**一**としてありません。 現在、胃腸藥は、質に多敷にありますが

成と本質

難とを綜合した薬品であります。 (Aleo: ESiO: AH20+4SiO: YH20)と場合数数 無強見にかくる特殊の制限、被数、吸著網、受者が急、重要に対論、重要は無限の胃腸薬でもありません。そのトモサンは、消化腫でも、附は別でも、このトモサンは、消化腫でも、降は別でも、

照ち、荷保が残いのも、慰謝を吹吹しないのも、すべて呼吸を開たは、自然にそれがの趣味もおからである。 成にこの研究を成くならば、自然にそれがの趣味も指述すべきであるという根拠の理論に研究があるからであります。

作用と特長

二、陽内の有害細菌を殺菌し、胃腸内の毒素の炎症(たどれ)を治療する作用。 次の如くです。
新日陽薬トモサンの作用と特技を製約すれば、
お日陽薬トモサンの作用と特技を製約すれば、
ななばない。 一、胃の分泌腺を整調し、同時に胃と腸の粘膜の粘膜

本館の作用は単に最大けです。しかし最等の作用が特性的 腐敗物を吸著して大便中に排出する作用。 はいます。 だいれる かいままり ままり

には、いかなる效果があるかと問へば、もし、

(音) が呼ばされて四級の研物が正し、なれば、自然に呼のは悪の「たくれ」が造成されてば、食物の動館も出まりが

棚44~開始されゝぜ、下町、便砂、最常開闢。 欧服蛟の保秋 第二に、服内の育世細度が発留され、また観素と原取物が

*、 等く時間の選索、脳関筋がトモサンに聴発されて、大便トモサンが健師中継、或は凝験版。 前版にまでな流するの に挑脱されるからであります。

接的に治療するのが最大特長であります。 斯くの如くトモサンは、胃腸障害の原因を直 いた。またいない。

ほ田に田に増大し、戦争勝級の勝環として名繁を高めつくあ。ここに終てトモサンは未た残骸星々でありますが、紫田者

違して、その快癒を促進するのであります。 ンを服用すれば、必ずや、今までの周陽薬と相 たとへ数年、十数年の極性関陽思者も、トモサ故に、急激なる下痢、嘔吐、腹痛は効節の事故に、急激なる下痢、嘔吐、腹痛は効節の事

市日本橋區本町三ノー 友 車社 줐

販賣元 世界 書通品



肝油を最も必要とする時

肝油は多のもの。…夏になると服用を休まねばな 連用が出來るからです。抵抗力の弱りがちな夏こましい一粒肝油ハリバは夏冬の差別なしに樂々と み續けることは實に『苦痛そのもの』ですが、 した。往時のあの臭いベットりした肝油を夏に服 ハリバは普通の肝油劑と異る次の特長があります そ肝油を最も必要とする時季ではないでせうか…… …との考へを一變すべき時代になりま

用量が少い。これまで用ひられた鱈の肝油に比べて、幾 る極めて高級な肝油を原料としてありますから、一回の服用量は十倍から幾百倍も濃厚にヴィタミンAとDとを天然に含有して居 これまでの何十分の一といふ少量で足りることになります。

糖衣の小粒この高級肝油は、從來のやうに消化の良く 賣特許の方法により、小さな浦塊のまゝ極めて溶け易い糖衣の小ないゼラチン膠囊などを一切用ひずに、未だ他に類例を見ない事ないゼラチン膠囊などを一切用ですに、未だ他に類例を見ない事 粒としたもので、從つて胃の中で、すぐに溶けて吸收されます。

號九十二百六萬一

『家庭の保健療として と超する小所子(原本Os)は決済 と超する小所子(原本Os)は決済

胃腸に障らぬ肝油を服まねばならぬ人の多くは、既に食 ハリバは、かやうな人に用ひてもまことに安全そのものです。夏だけは眞平と言はれたものです、しかし微量で足りる一粒肝油慾が減り、消化不良を起してをるので、冬なら我慢も出來ますが

時季にも愉快に連用出來る事は保健上に大きな意義を有します。肝油が最も必要なのは抵抗力が最も衰へがちな夏にあるのでこの肝油が最も必要なのは抵抗力が最も衰へがちな夏にあるのでこのは解用し得ないものと諦められてゐたのもこのためです。しかしは服用者にムラ〈と反威をさへ與へたものです。夏は肝油臭味は服用者にムラ〈と反威をさへ與へたものです。夏は肝油のあの吐き氣を催じさうな

効力が均等 往時の肝油はヴィタミンADの含量が属々 分光寫廣試驗とで、正確且つ均等に、含量を測定してあります。それがある。 ではでしたが、ハリバは動物試験と、比ざで したが、ハリバは動物試験と、比ざずかと且つ最も科學的な だも木だ足りないものもあり、正確には「見を決めることは不可でも木だ足りないものもあり、正確には「見を決めることは不可 であるため、一日五グラムでよいものもあれば、三十グラム服ん

携帯の便否 不便無口に対対 なり おんたっとなり した 油が底壁し 地が底壁し 地が 原野し 地

い、症が臭くなる

清潔である

家庭で、母親 の手から高ん

べ得る小瓶で ボケットに携

けられるのは保健上誠に喜ばしい進步と申さねばなりませんが『せめて夏だけでも』………と一粒肝油ハリバに代へてつゞ 以上のやうなわけで、これまで油霜を用ひられてをった方々

病質の兒童に大切 まで服用させる 特に疾育遅越 縣 で先生に 概んで 特に疾育遅越 縣 で先生に 概んで

で服みたがる

	形用の難易 時から肝神は弾み	ヴィタミン 含量 肝油が勢くのはが イタミンAとDで ある。	とう通ふ?
他の量が多くて、モ	奥福が 線はれる は、 且つ 服みにく いから 服みにく の の の の の の の の の の の の の	○24 一 双五〇〇又は六〇 ○ 人都位のものものもあり、最により ものもあり、最により ものもあり、最により ものもあり、最により	增通肝油
油の量が少い	生臭くない で足り、糖衣 の小粒だから	毎粒三六〇〇 標準法で單位を均等 に含むで、風際	,, IJ
74.	9 13 196	る無原等し	•

連用の認がある 動型から数を見も 一 胃臓の負擔」ない気味となる、 というとなる につきいつしか中止 につきいつしか中止 ままらす、夏冬を 間はず年中楽 のような、夏冬を



粒

肝

油

五百松十四五十錢五百松十四五十錢

店商郎三元邊田融武縣 ——目丁三町修道以東市収大—

店商衛兵五邊田社會武祿

三年後のいまひし!

然出娘、涙の更生

恐ろしや邪戀の母に賣られ 三年ぶりに温い懐

> なんとなく明るい感激に眼を消ま **ニキっれした仮心の父、松川温暖**

(急に元気づいてスタチオ内も

獣に北郷国屋の街三常に贈の在に買られんと知った。 街に落も果ては着い傭戻の練心を買ふ食のられた脚 田のフラッパーが報わた覚謝の犠牲となつて女爺生 田のフラッパーが報わた覚謝の犠牲となつて女爺生 時は、初めてやさしく正しいと信じ切つてあた様は 出した垣軌道な行用ですみの下に、原の智慧を認

東生の光を求めて全部かに掲床

しが戊に大御動を與へてゐる
敷馬凹を溶散してゐたことが判明 一につけ込み自己の地位を利用して

京城教授町季在蒙古, 忠南山城郡

一萬回横領

当川面正谷田園方以(き)は李の親

「一つもう娘は飾って来ないと思っています。 ではました。父のは、他ののだと思ってもました。その時と思ってもました。父のは、かり別都をあいて失悲り私の可かり別都をあいて失悲り私の可かり別都をあいて失悲り私の可のの変に消失しても、でいる別としてもでいるが、している男とのである。

日体職場分に削され同廿日平盟署 | 注点を恐いてあたが去る五月十五 土地を有し妓生二、二名を妾にす 生活をなし郷里徳川には数高国の 係率非要なしば收入に何ず疑智な

で被害額は敷萬間に

るなど不能の脈が多いので背局の

の上が向かな出ます起源……(忠直に父の胸に動込んだやすずさん)がながいか出生が静から明光を終めた出すが過ぎます。爰城をシッカリと追かい遠の胸に動きしめ、隠心にやら呼ばら帰の犯に致られやうとす。爰城をシッカリと追かい遠の胸に動きしめ、隠心にや (4) 構造だまらず低文の胸に違らに致いる求めて飛び込んで来た。いつかは随う夏頭のとれて、人生外道の生活にいたな生涯の手を維む初めて自覚した正しい明らい人生に、 語ろしい思聞のは銀であることが辿り 一と音響に沈まんとする棘の道を辿る極慢の乙女の胸に想ひ出 の危急を知つて大枚五百五十回の母代金を投げ 即去來の愛娘に父か與へた疑後の愛の言

マラリヤ診療に警鐘

順化病院長らの新發見で

して娘のやうに身間にヒョイと解していトランクをその私に投げ出 は「こりやたまらん」といん

從來の學說根本から覆る

泣き明かした 彼女の胸に甦つた父性愛

タバーなや字子さんを實題し若

別本館の数をとり書きうとあせつ。手で担じしめてくれた、遠鏡を出ってあり、即も総が続てノリヤはそ に随倒してはあるが、どこか即に自分の数を認めたやますさんは人。た父は古に壁にずごしと遠い髪の。一方総関語歌士にこを観測を襲へ、人を治師中、高腕毛の値かケフスの数との数としてうとす。 の缺りを得つて徐心の三年を渡つ。 されてオリヤ総作品と見入する。されて渡られて凍ら側が入場番間に出っています。

脇チフスと

経常階に影響にないという前提か | 建設してプラスモヒン・アテブリン かない音楽を一線なし』の聖鏡を概不かしくつが、大心脈を臓。リヤの脳鼻を模型し「質節に緩弾・ドの脳鼻を模型し「質節に緩弾・バー・ としてアウスをエイ・アテブリン できです」(異真は推復博士 にしてから返済を収入し、関係に燃む、したの変量を表現し、関係に燃む、したの変量でも研究中ですがまり、その便美条銀でしたところに不設を担き記さ になっきりしません。診断は即じたいところに不設を担き記述、の数はに記ら

定してアラスモヒン・アテブリン

「お道具を跳すことによって

「外間別はを腕すことによって

「のこの」

「のこの」 音なし飛行機 ドイッで完成さる

立航空航空所は過去。年半に取る「製作に成功、航空管は既に二十級 十六日同盟」ドイツ観一研究の結果、遠に無苦霊飛行徳の

○年東京オリムピワク大資までにフトハンザ育社では是非共一九四 十五時間で繋がらといふのだ、ル ピードを出し東京、ベルリン間を一に運搬出来ものでソヴェートに對 鼠に採用されるといはれる

興味ある科學の夢

千圓消える

の二部から語な、こうはいらばな。 坂間大門道り一の一三五金前面智(縦パメしてばれた語――後山水葉)から隔さた石臓を説に吃してから坂間大門道り一の一三五金前面智(縦パメしてばれた語)大数子園の穏東を一の賃券を作りたが壁工六日朔登山、熊岩――十六日午前十二時十分坂 洗濯女の仕業と判明

> 細菌倒金順期さん方を訪れ代理 **十四日夜京城釧路四ノ八四小英龍** 父は既然類似。こと自時する男が

物生活者が同二十二萬七千人、よるとサラリーまで月試?の経 夜が耐く出來上つたが、それに

日帰生活者が五十五萬七千

からと地国廿五國を受取つて立去加入を施護、二百國の商品を送る

傳染病魔盛り返す

十四萬四千人

邪感を認めつく父の娘の縁めもと

気儘 な気をのばしたが数

生活数を得るためにやす子さ 描はさら永くは置かなかつ 個フラッパーなです子さんは母の

ゲ・ペ・ウ越境して

我官憲を不法射戦

和十年五月大を指て、かねて暇のに限し悲しみの謎がまだ乾かね昭

ザ航空弾ಮが全機能をあげて確認。 間飛行記法は三年後のオリムビツ |である、従来喧嚣||城市モギリス | つて上京干キロ乃至十五キロの政:「ベルリン十六日間盟]ルフトハン | 中であつたベルリン東京別十五時 | 夕大霞までに質城しようといふと | 少くするために戦機な過行機を作

獨逸航空會社の物凄い計畫

けられてゐる談なのである、新者

部署込みである 質別して同じな数税由でドイツ選

怪火の原因

の交路に必要な対方案の研究が配 独自の航空路、駅中日福南西を第一 完整を開拓しようといふのでこ

めつた自分の子供のやうな契政門 長生の実情年の下に走つた、勿

ながら死んだがそのほは一家が野

よりが來た、そのころ長女リッチ 急にタイーンの生命には行きで

イの一番におり、選手を運ぶ

んつでは母の無航道よりを吹き

大門器に同け出た つたが十七日まで何の音が広もな 大部分は内地人でしかも死亡率

では節命に笛を吹いてゐる十件の場合えを訪ぐやう所物生態

日になんと十二名の患者

客の金を横領

壤府 圓を着服

損味に安らかに融つてゐる 話ひもと一度と人生外近に物表 てやさしい組合を確いてゐる。

やはり私の娘

父・松尾氏語る

果つて一時下火に | 衛生配の防疫陣を窺緝させてゐる | RVILLS 六月に入つてから十六日までの際 赤綱州人、勝チフス十四人、愛一で今年は家殿が原政を職の帰還者、柴賀県著は

た。右衛塾に跨した道義語部は直もに江南を殿軍に殴めると共に本版を、戦、敵を撃退したがこの交戦で日陸巡査は名譽の

・ウの一隊が不法にも國境を突破して侵入し來り射點征所の器本、日殿の開発語と一般失上原兵とか見解江を華之對談の選問

日隈巡査の死體拉致さる

ゲッテリア十七人、流屬二人、惣テフス二一人、混紅熱七人、

呆城府防疫陣大あせ

明れたり曇ったり で 気

府有地を賣飛ばして

心、早速それを観行に頂入れ、猫

ンカチに包んであつた平面札束が

じがれの調

花柳病外科療の

バンをきめ込んだ老氏は引聞き取

大四世の歌しま 下卵あれば血に

しつつきる五月十七日毎山上四以

同地に一般した、十八日平野へ向 過故國へ降る度是である 三緒はその昔の敬へ子の師に掛け ひ同地では七七腕隊の小田中佐の 式案内底行中の香村、船内、山崎の 似の底行をつづけてゐた恐師リレ

た派軍機二個の指別者の氏名左の「東京電話」卒中衝突して帰済し

も、水の

が用予証 ト予証

くち式ポンプ

自動 (京城月 (京城月 (京城月

大記頭中以下とふり、一切がより規切に指導が延伸を受け

搭乘者氏名

竹女

子

五献午後四時から面生院十八歳より二十

家庭經濟研究 壁

※ 市口等以

干面を借り出し京城方面に変を晦一案内で市内見物の上十九月京城組

統に上海が

新 川 田 王 王 野 野 断 會 京 城 出 張 所 京 城 出 張 所 京 城 出 張 所 京 球 日 張 所 京 球 日 張 阿 - 丁 川 清本版(2)3301 市・版学中部取収5503 帯

三中井の合宿に侵入

二名を収容

〜ンテ西中 お八四八三本電 け、1:0三一城京替振

動いてあるのを可憐の複雑状が観 来、同家の際に機能に届はれて省 名は十七月午後 | 昨半端状候組を四ノ一五三甲非原以の合能財第二 文献がかその編同家的史を通つた | 原著した禅山郡郷組以文部兵戦・上十七日十前三時二十五分・ろ本町 | 帰出た、同等では大道地中衛長と | 木更はは減りでなら衝災が中に十七日十前三時二十五分・ろ本町 | 帰出た、同等では大道地中衛長と | 木更はは減りでなら衝災が中に りの原政に推顧で辿じつめられたと辿い廻し、二十人からの肺炎盛の怪磁とばかり協力逆け廻ら怪極の怪磁とばかり協力逆け廻ら怪極 てばらくつと若い歴版が走り出から『泥壁だり』と怒鳴る繋がし 見し、ジーツと監視してゐると中一 宅した永賀浦町二五六李相荘の饗民ともさんが布徹を築した頃に帰 楽氏(皇)を怪しいと睨み、十七日一が、他の五名は米に彼妃されず れたが危地で幽望視される、脈群 新出動して極力技术に努めて

るる (木更准は渡り)で空中断実進中に「仙須賀電前」 観撃上候活本収納

日本海大博覽會

要人 新 是 科 吉 電本5745

7 Maria

電

券 200 金融 公局:11四番 11四番

7

名古風・堀店 日の 丸 厢 店

图

· 译

発び越ス、間のなどに削えて終。主配の日本海大博物館は昭和十三。なり十七日盛大に割行されたが同 することになり同古城山助役外政 氏か十七日入城、本府その他は後 年四月廿日から六月十五日まで新日景公署長より本職へ次の知き謝 新潟開催七十年を記念する新湖市一の署罪は鷹行級山着政が委員技と 市助役ら挨拶に入城

店は連中が残念かること

虚に五、六子トン級の船舶五、 遺族からも
たほ門別

会と催し

◆第二回密鮮等

※と高大社県城東に本社後後のもと

各等級協議館に本社後後のもと

さる大社県城支局主館、京城

※と高大社県城支局主館、京城

では地域的となったので現在の

何外の京城家 東市場の移物政

近く馬塲里へ

場移轉 京城家畜市

山林、蘇地・高がの買収に着

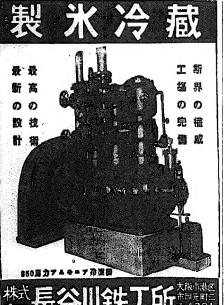


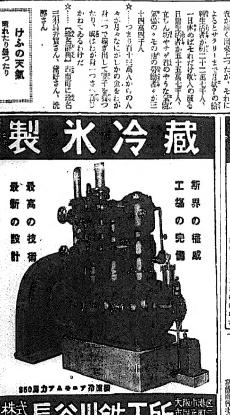


原 图 富 久 原 富 久

門課が失楽調査







概 能
長谷川鉄
T

特別等與

可一品额的西田进则

部旗國敏眞保久大

三町金黄地京 指叫一二二(2)本町

恩

代進呈!

込めば 四六股一五〇頁の 美本紙川町二ノ十の 【保健と長譚の寶】

一般第して服られた、微能な変配的 日本女性のお肌への附着力を特に をお選びになるに限ります!

にし、沙して明れぬレート自然

くついて、魅力のこぼれる別るい 子ですから、誰方にも、例外なく見 が壁のお眠りは、脚るいが上に ませノ それには、脚端はひのま ませノ それには、脚端はひのま

| 現状記念競馬質記(発工| 同八棒 | 10分 | 東)諸歌(たは柳 | 同六棒(城)線斯 | 藤野諸濱(京城)北京原 | 同九棒(東)時事が成 | ソ場の内 | 同六棒(域)線斯 | 極端諸濱(京城)北京原 | 同九棒(東)時事が成 | ソ場の内 | 同六棒(域)線斯 | 極端 | では柳 | では柳 | 同六棒(域)線斯 | 極端 | では柳 | 10分 | ではかけ | 10分 | 10分 | ではかけ | 10分 | ではかけ

與してあつても、仲々能乏込めは

名前を呼べたくらゐださらだつ

も少かつたので、自然、名前も登 わしの認希の時代は、腰工の数

か同六時(東)婚婦の一十九)

それは二三年前から、武衛の郡

特にその腰エカードを作製

八日 (金)

でんが、五枚や六枚なり悪盗には | 同九時四五分 | 料理献近(トマト州してあつても、仲々覚え込めば | 同九時 | 〇分(域)気象

一 子後等時五分(東)掛合噺 ・ 経歴順士 五斗

同二時(大)小塚生の時間「愛」 一番二』名曲のいはれ(五) 小塚生の時間「愛」

卓上に一てゐるのを見ると、何か確ましい

第4ロ八順に整理されたカードが、『目態のお戯へお進語数して聞き。 第つて來も。それは、男玉、女玉 | 靄がしたやうに目を戻らしたa

ない消積世の初期であつたにも の肉を食べる外に石器を使用し には最古のものとされるに並った いはらず、後等は猛獣と戦つて北 北京脱入達か河穴に住んであた 更に英雄を唱み、火を用ふ

この道は、いつか来工道 あいさつがよ あいさつがよいであ あいさつがよいで あの記は、いつか別に丘 もの記は、いつか別に丘 はらい白い、海市場だっ にの道は、いつか別に丘 はっこうだよ はっこうだよ はっこうだよ かっこうだよ なっこうだよ なっこうだよ なっこうだよ なっこうだよ なっこうだよ なっこうだよ

差しむけられるが所後守は我が

京原入に就 趣味講演 個、自宅へ融らず、自動曲で、

成別は東京駅で降りると、その

暴風雨の前 (三)

うつとりゆられて行ったこと型え ろへ行つたこと登えるるよ。お

お供さんもその頃をおもひ出す

貞山の講談

掲技と一緒に真直に、千住の東華

「は」あ、さらか」

一先づそこの卓の前に落着く一の部には(生蛇城中)とまで微細

整理の由來と重無單人種の元祖と

日匠頭の御旋にて父母後守に使者

放得なる営め父の批准を受け日

〇北鮮

一〇大連条件 (川五日 大連七日) 新江 丸 (川五日 大連七日) 田田 東 山東 (川五日 大連七日) 大連・背景行 統元計一次下 | 日 ○大連・背景行 統元計一次下 | 日 ○大連・背景行 統元計一次下 | 日 ○大連・背景行 統元計一次下 | 日 ○大連・背景行 統元計一次下 | 日 ○ 西藤北郎行 統元計一 | 東京 丸 (川大日城南神五日) 日 南 東 丸 (川大日城市) | 東京 (東京) | 東京) | 東京)

(1) 心臓そのものに作用初期の抑制作用を伴はず强心

薬として働き且つ呼吸中枢血管中枢にも作用す (2) 臨床實驗の結果は何等の副作用なく夏く强心呼吸

に増强する作用は本劑の最も誇るべき點なり (3) 化學的純合成品なる上酸化を防止せるを以て其内

容及び効果は常に一定不變にして價格亦低廠なり

劉邈元 # 國世人理 化 學 研 究 所 株式會社 蘇澤友吉商店 大阪市東區電影の二 株式會數 田邊元三郎商店 東京市日本韓國本町二

電野口 照商 鹽會

(金行)引計回夜年十 京袋本町 三 田 攻

ガラスヤミタマサ

圖水行(急行)作日

京郊外間口店の石灰河廊から選手地浜湖省所の裏文中氏によつて北 西居一九二九年、中華民國北京]

者の研究によって、北京別人、 避見された世界の古人類化石と

日の日を拜む

興奮作用を迅速に發現し殊に淺薄なる呼吸を深大

容 量 1.0cm 5管入10作入50管入 2.0cm 5管入10管入50管入

文献は代理店より啓定に限り貯量す

をのむ

それで一日変快